

附錄 日本外交文書

大正三年 第一冊
(西曆一九一四年)

日附索引

大正三年 第一冊 (西曆一九一四年) 日附索引

一 月

事項番号 文書番号

一	一二	一月二日	在米国珍田大使ヨリ 牧野外務大臣宛(電報)	土地問題ニ関スル日米協約案ニ付米 国側審議促進方国務長官へ申入ノ件	三五
五	一八一	一月四日	在桑港牛島日本人会会長等ヨリ 小池政務局長宛	米国ノ排日の移民法案ニ関シ珍田大 使ニ提出ノ意見書送付ノ件	二四六

附屬書 右意見書写……………二四六

三	一五一	一月十三日	牧野外務大臣ヨリ 在桑港沼野總領事代理宛 (電報)	松尾ノ加州ニ於ケル遺産ニ付裁判所 へ提出セラレタル遺産目録等ニ関シ 問合ノ件	一六六
三	一五二	一月十三日	在桑港沼野總領事代理ヨリ 牧野外務大臣宛(電報)	松尾ノ加州ニ於ケル遺産土地ニ付松 尾未亡人ガ裁判所ニ対シ為スベキ遺 産分配申請ニ関スル意向其他回電ノ 件	一六六
一	一三	一月十四日	在米国珍田大使ヨリ 牧野外務大臣宛(電報)	日米協約締結ニ付近ク大統領ト協議 スベキ旨国務長官内話ノ件	三六
一五	三四二	一月十四日	安藤新潟県知事ヨリ 坂田通商局長宛	「ブラジル」行農業移民家族構成ニ 関スル件	五二四

一六 四四三 一月十四日 在本邦独国大使ヨリ
牧野外務大臣宛……………六八七

一 一四 一月十五日 在米国珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)……………三六

一 一五 一月十五日 在米国珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)……………三七

三 一五三 一月十五日 在桑港沼野總領事代理宛
牧野外務大臣ヨリ(電報)……………一六六

三 一五四 一月十五日 在桑港沼野總領事代理宛
牧野外務大臣ヨリ(電報)……………一六七

一八 四九〇 一月十五日 在露国本野大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)……………七二四

附 記 参謀本部「蒙古情報」第一号……………七二四

一 一六 一月十六日 在米国珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)……………三八

三 一五五 一月十六日 在桑港沼野總領事代理宛
牧野外務大臣宛(電報)……………一六七

一四 三二四 一月十六日 安楽警視總監ヨリ
坂田通商局長宛……………四五九

一 一七 一月十六日 在米国珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)……………三八

三 一五六 一月十七日 在桑港沼野總領事代理宛
牧野外務大臣宛(電報)……………一六八

一 一八 一月十八日 在米国珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)……………三九

一五 三四三 一月十八日 在伯国畑公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)……………五一四

三 一五七 一月十九日 在桑港沼野總領事代理宛
牧野外務大臣宛(電報)……………一六八

三 一五八 一月十九日 在桑港沼野總領事代理宛
牧野外務大臣宛(電報)……………一六八

一 一九 一月二十日 在米国珍田大使宛(電報)
牧野外務大臣ヨリ……………四〇

別 電 一月二十三日牧野外務大臣宛在米国珍田大使宛電報

第二一號……………四〇
第三条ノ修正案

一五 三四四 一月二十日 坂田通商局長ヨリ
安藤新潟県知事宛……………五一四

一五 三四五 一月二十日 在伯国畑公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)……………五一五

一 一 一月二十一日 牧野外務大臣ヨリ
在米田珍田大使宛(電報) 加州問題ニ関スル議會演說通報ノ件……………一

別 電 同日牧野外務大臣兇珍田大使宛電報第八三号……………一
右演說ノ英訳文……………一

附 記 一 右演說ノ和文……………五

二 加州問題ニ関シ一月十八日彼我打合済ノ公表案……………七
三 一月二十五日附清水代議士報告書日米議員会竝
日米問題……………二一

八 二四八 一月二十一日 牧野外務大臣ヨリ
山本農商務大臣宛 臘納獸保護條約實施法ニ依ル陸上禁
獵第一年分トシテ一万弗金券米國政
府ヨリ送付越ニ付其措置振ニ關スル
意見問合ニ對スル回答督促ノ件……………三二六

一五 三四六 一月二十一日 在伯國畑公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報) 「サンパウロ」州政府同州行日本移
民解約ニ關シ同州農務長官説明ノ件……………五一五

一六 四四四 一月二十一日 牧野外務大臣ヨリ
寺内朝鮮總督宛 在鮮各國居留地廢止下協議會ノ議定
書是認方ノ我提議ニ對シ在本邦獨國
大使ヨリ回答ノ件……………六八八

三 一五九 一月二十二日 牧野外務大臣ヨリ
在米田珍田大使宛 加州ニ於テ死亡ノ松尾平六遺產事件
ニ關スル法律家意見調書送付ノ件……………一六八

附 屬 書 外務省「デニソン」氏作成ノ調書……………一六九

三 一六〇 一月二十二日 在桑港沼野總領事代理ヨリ
牧野外務大臣宛(電報) 加州居住田崎ノ遺產タル農園ハ加州
土地法適用ノ新例トナルヘキ旨報告
ノ件……………一七一

一五 三四七 一月二十二日 在伯國畑公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報) 「サンパウロ」州政府日本移民解約
決定動機ニ關シ探索ノ結果報告ノ件……………五一五

一 二 一月二十三日 牧野外務大臣ヨリ
在米田珍田大使宛(電報) 加州土地法ニ關スル外相ノ議會演說
ニ對スル新聞論評等電報方訓令ノ件……………二八

一 二〇 一月二十三日 牧野外務大臣ヨリ
在米田珍田大使宛(電報) 日米協約案第四條修正方訓令ノ件……………四一

一 二一 一月二十三日 在米田珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報) 土地所有權ニ關スル日米協約案第三
條修正案ニ關シ國務長官ト会谈ノ件……………四一

一五 三四八 一月二十三日 牧野外務大臣ヨリ
在伯國畑公使宛(電報) 「サンパウロ」州行日本移民ノ解約
決定撤回方等ニ關シ意見提示セラレ
タキ件……………五一六

一五 三四九 一月二十四日 在伯國畑公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報) 「サンパウロ」州行日本移民解約決
定撤回方運動ノ余地ナキ旨回電ノ件……………五一七

一八 四九一 一月二十四日 牧野外務大臣ヨリ
在露國本野大使宛(電報) 天皇陛下宛蒙古活仏書翰ヲ在本邦露
國大使ヨリ陛下ニ捧呈方願出ノ件……………七二八

附 記 本件ニ關スル一月二十三日東京日日新聞切抜……………七二八

一八 四九二 一月二十四日 在露國本野大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報) 加州土地法ニ關スル外相ノ議會演說
ニ對スル新聞記事報告ノ件……………二八

一 三 一月二十五日 在米田珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報) 加州土地法ニ關スル外相ノ議會演說
ニ對スル新聞記事報告ノ件……………二八

一 四 一月二十六日 牧野外務大臣ヨリ
在米田珍田大使宛(電報) 加州土地法ニ關スル外相ノ議會演說ハ
米國ノ承認ヲ經タルモノナリヤニ付
質問アリタル件……………二九

七 二二一 一月二十六日 在蘭國佐藤公使ヨリ
牧野外務大臣宛 蘭米間國際審查條約送付ノ件……………二八一

附屬書

一九一三年十二月十八日調印ノ蘭米間國際審査条約……………二八一
正文写

附記一

大正三年四月二十四日在米國珍田大使發牧野外務大臣宛電報第一〇三號……………二八四
國務長官ノ國際平和維持ニ關スル考案ノ綱領發表ニ關シ報告ノ件

二

大正二年六月十日附珍田大使發牧野外務大臣宛機密公第三二二號……………二八五
米國政府提議ノ平和維持案ニ關スル件

三

米國政府提議ノ國際平和維持案ニ關スル成行摘要……………二八七

一五 三五〇 一月二十六日

在伯國畑公使ヨリ
牧野外務大臣宛

「サンパウロ」州政府同州行本邦移民契約解除決定ノ事情ニ關シ調査詳報ノ件……………五一七

一 五 一月二十七日

在米國珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

加州問題ニ關スル外相ノ議會演說ニ對スル「ポスト」ノ論評統報ノ件……………三〇

一 一一 一月二十七日

在米國珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

加州土地法ニ對スル法律家意見報告ノ件……………三三二

附記

加州土地法ニ關シ日米兩國政府ノ主張スル重ナル法律論点……………三三三

五 一八二 一月二十七日

在米國珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

米國下院ニ提出セラレタル「レリーカ I」案等ノ移民法案ニ對スル労働長官ノ意見書ニ付報告ノ件……………二四九

五 一八三 一月二十七日

在米國珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

米國下院ノ移民法案ニ對スル労働長官ノ意見ニ付國務長官ニ異議申入ノ件……………二五〇

一 二二 一月二十八日

在米國珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

日米協約案ニ對スル國務省部内ノ反對意見ニ付英國大使談話ノ件……………四一

一四 三二五 一月二十八日

在リマ森領事ヨリ
牧野外務大臣宛

森岡移民会社及「ペルー」國「サン、アグスチン」農業会社間ノ移民供給契約許可方稟請ノ事情報告ノ件……………四六一

一 六 一月二十九日

牧野外務大臣ヨリ
在米國珍田大使宛(電報)

加州問題ニ關スル外相ノ議會演說ニ付國務長官ト打合方訓令ノ件……………三〇

一 七 一月二十九日

在米國珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

加州問題ニ關スル外相ノ議會演說ニ付國務長官ト打合方訓令ノ件……………三一

一 二三 一月二十九日

在米國珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

日米協約案ノ國務省部内協議狀況ニ關スル件……………四二

三 一六一 一月二十九日

在桑港沼野總領事代理ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

加州ニ於テ死亡ノ田崎ノ寡婦ヨリ遺產管理ヲ依頼越セルニ付其措置ニ付請訓ノ件……………一七一

四 一六九 一月二十九日

牧野外務大臣ヨリ
在桑港沼野總領事代理宛(電報)

加州ノ法律及条例中市民タル意思表示ヲ以テ外國人ヘノ職業等許可要件トセルモノニ付査報方訓令ノ件……………一七八

八 二四九 一月二十九日

山本農商務大臣ヨリ
牧野外務大臣宛

臘納獸保護條約實施ニ關スル米國法律中ノ陸上禁獵ノ規定撤廃ニ努力スルコトト致シ度旨回答ノ件……………三一六

一八 四九三 一月二十九日

牧野外務大臣ヨリ
在露國本野大使、在中國山座公使各宛

天皇陛下宛蒙古活仏書翰陛下へ捧呈方在本邦露國大使ヨリ願出ノ件……………七二九

附屬書一

活仏書翰ニ關スル露國大使ノ説明書……………七三〇

二

滿鉄社員兒玉ノ蒙古政府ニ對スル陳述要旨……………七三一

一九 五三一 一月二十九日

在米國珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

在墨日本公使ガ不當ニ多大ナル同情ヲ「ウェルター」政府ニ寄せ居ル旨國務長官ヨリ指摘ノ件……………七九九

一	二四	一月三十日	牧野外務大臣ヨリ 在米国珍田大使宛（電報）	日米協約案ヲ米国上院ニ附議ノ時機 ハ案ノ成否ニ死活的關係アルニ付右 ニ注意方ノ件	四二
四	一七〇	一月三十一日	在シアトル高橋領事ヨリ 牧野外務大臣宛（電報）	外人ノ市民タル意思表示ニ関スル 華州法回報ノ件	一七八
四	一七一	一月三十一日	在ポールランド井田領事ヨリ 牧野外務大臣宛（電報）	外人ノ市民タル意思表示ニ関スル 「オレゴン」州「アイダホ」州法等 報告ノ件	一七八
附記					
二月一日井田領事發牧野外務大臣宛電報第三号前電……………一七九 ノ一部訂正ノ件					
一九	五三二	一月三十一日	在米国珍田大使ヨリ 牧野外務大臣宛（電報）	米國政府ガ墨西哥、加州土地法、仲 裁裁判、亜細亞人排斥移民法案等ノ 諸問題ニ関シ新聞ニ与ヘタル説明報 告ノ件	七九九

二月

四	一七二	二月一日	在シアトル高橋領事ヨリ 牧野外務大臣宛（電報）	外人ノ市民タル意思表示ニ関シ 「タコマ」市条例報告ノ件	一八〇
五	一八四	二月一日	在米国珍田大使ヨリ 牧野外務大臣宛（電報）	米国移民法案ニ対スル抗議提出ハ加 州土地法關係ノ日米協約交渉ヲ妨ケ サル為暫ク見合セ可然哉請訓ノ件	二五一
附記一		大正二年十二月十五日 大使宛電報第二八五号 「バーネット」移民法案ニ付問合ノ件	牧野外務大臣ヨリ在米国珍田		二五二

二		大正二年十二月十七日在米国珍田大使ヨリ牧野外務 大臣宛電報第三四〇号 「バーネット」移民法案ノ修正ニ付回報ノ件			二五二
三		大正二年十二月二十日牧野外務大臣ヨリ在米国珍田 大使宛電報第二八七号 米国議會ニ提出ノ移民法案中不都合ノ条項ニ付米国 当局ノ注意喚起方訓令ノ件			二五三
四		「バーネット」移民法案調書			二五三

一	八	二月二日	牧野外務大臣ヨリ 在米国珍田大使宛（電報）	外相ノ議會演説ハ事前ニ國務長官ニ 内示セラレタル旨島田氏確言ニ付同 長官ニ聞糺シ方訓令ノ件	三一
一	三五	二月二日	牧野外務大臣ヨリ 在米国珍田大使宛（電報）	日米協約案第三条但書削除ニ同意ノ 趣旨ニ関シ在本邦米国大使へ談話ノ 件	四三
一八	四九四	二月二日	在モスコ二瓶總領事代理ヨリ 牧野外務大臣宛	訪露蒙古使節莫斯科視察ノ後帰蒙ノ 件	七三二

一	九	二月三日	牧野外務大臣ヨリ 在米国珍田大使宛（電報）	貴族院ニ於ケル外相演説後ノ加州問 題公表案配付中止ノ件	三一
一	一〇	二月三日	在米国珍田大使ヨリ 牧野外務大臣宛（電報）	外相ノ議會演説ハ予メ國務長官ニ内 示セラレタル旨島田氏確言ニ付同長 官ニ聞糺シ方結果報告ノ件	三二
一	二六	二月三日	在米国珍田大使ヨリ 牧野外務大臣宛（電報）	日米協約案第三条修正案ニ國務長官 同意並協約案ヲ上院外交委員ニ内協 議ノ時期ニ付意見ヲ求メラレタル件	四三
一	二七	二月三日	在米国珍田大使ヨリ 牧野外務大臣宛（電報）	日米協約案ヲ國務長官ヨリ上院外交 委員ニ内協議ノ時期ニ関スル件	四四

三 一六二 二月三日 牧野外務大臣ヨリ
在桑港沼野總領事代理宛
(電報)

加州ニ於テ死亡ノ田崎ノ遺産管理ニ
関シ回訓ノ件……………一七二

一 二八 二月四日 牧野外務大臣ヨリ
在米田珍田大使宛(電報)

日米協約案ヲ政府ヨリ上院外交委員
ニ内議ノ時期ニ付大統領ノ希望ニ同
意ノ件……………四四

一 二九 二月四日 在米田珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

日米協約案ヲ政府ヨリ上院外交委員
ニ内議ノ時期ニ付國務長官ヨリ申
出ニ同意並下院ニ於ケル「バーネッ
ト」移民法案ニ付談合ノ件……………四五

八 二五〇 二月四日 在米田珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

米田政府ヨリ臘納獸陸上禁獵第一年
分トシテ送付越ノ一万弗ハ留保附ニ
テ受領スルコトニ再考方稟請ノ件……………三一六

一一 二九四 二月四日 在ニコラエウスク山口領事館
事務代理ヨリ
牧野外務大臣宛

「カムチャツカ」州ニ魚類養殖場建
設ノ件……………三六〇

附記

大正二年十二月二十三日附在ニコラエウスク山口領事館
事務代理ヨリ牧野外務大臣宛公第一二二号

………三六〇

牧野外務大臣ヨリ
在米田珍田大使宛(電報)

日米協約案中ノ最惠國民待遇ナル語
ノ解釈ニ付意見問合ノ件……………四六

一 三〇 二月六日 牧野外務大臣ヨリ
在米田珍田大使宛(電報)

米田議會ニ於ケル重ナル移民法案審
議狀況問合ノ件……………二五四

五 一八五 二月六日 在米田珍田大使ヨリ
牧野外務大臣(電報)

「バーネット」移民制限法案米田下
院通過ノ件……………二五四

八 二五一 二月六日 松井外務次官ヨリ
橋本農商務次官宛

米田政府ノ臘納獸陸上禁獵第一年分
一万弗受納ニ関スル珍田大使ノ稟申……………三一七

一八 四九五 二月六日 在中國山座公使ヨリ
牧野外務大臣宛

露華蒙ノ「キヤクタ」會議ニ関シ總
統府顧問「モリソン」水野参事官ニ………七三三

一九 五三三 二月六日 在墨田安達公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

墨田現下ノ紛糾セル時局ニ処スベキ
態度ニ付訓示ノ件……………八〇一

一九 五三四 二月六日 在英國井上大使宛(電報)

在本邦英國大使ヨリ日本政府ハ近來
對墨態度ヲ多少改メタルカト問訊シ………八〇一

一五 三五一 二月七日 在伯田畑公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

「サンパウロ」州行本邦移民解約決
定ノ撤回方ニ関シ東洋移民會社及竹
村殖民商館個別的ニ運動ノ件……………五二四

一九 五三五 二月八日 在墨田安達公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

米田國務長官ノ在墨日本公使非難ニ
付弁明及米田新聞ノ所謂日本ノ墨田
代理大使ノ所見ニ付報告ノ件……………八〇二

一九 五三六 二月八日 在墨田安達公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

英國ガ我對墨態度模索ノ真意ニ関ス
ル件……………八〇三

一五 三五一 二月九日 在伯田畑公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

「サンパウロ」州政府ノ本邦移民契
約解除ニ関シ竹村殖民商館及東洋移
民會社間共同動作ヲ協約ノ件……………五二五

附記一 協約覺書写

二 協約施行方法書写

三 協約施行方法書ニ対スル意見

……………五二六

四 一七三 二月十日 牧野外務大臣ヨリ
在桑港沼野總領事代理、在シ
アトル高橋、在ポートランド
井田各領事宛……………一八〇

一	三一	二月十二日	在米國珍田大使宛(電報)	日米協約案ヲ上院外交委員ニ内議ノ 延引ニ付國務長官ノ注意喚起ノ件	四六
一五	三三三	二月十二日	坂田通商局長ヨリ 熊本県外十五県知事各宛	「ブラジル」行呼寄移民旅費補給資 格ニ関スル件	五二七

附記

大正二年十二月十五日附在リオデジャネイロ松村総 領事ヨリ牧野外務大臣宛領第六四号	五二八
---	-----

五	一八七	二月十三日	牧野外務大臣ヨリ 在米國珍田大使宛(電報)	「バーネット」案ニ対シ我方異議ノ 点ヲ書面ニ認メ國務長官ニ内示スル 様訓令ノ件	二五五
---	-----	-------	--------------------------	---	-----

八	二五二	二月十三日	橋本農商務次官ヨリ 松井外務次官宛	米國政府ノ臘肭獸陸上禁獵第一年分 一万弗ハ珍田大使意見ノ通措置アリ タキ旨回答ノ件	三一七
---	-----	-------	----------------------	---	-----

一五	三五四	二月十三日	牧野外務大臣ヨリ 在伯國公使宛(電報)	「サンパウロ」州行本邦移民解約ニ 関スル意見等電報方ノ件	五三〇
----	-----	-------	------------------------	---------------------------------	-----

一五	三五五	二月十三日	在伯國畑公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電報)	「サンパウロ」州行本邦移民ニ関シ 回電及請訓ノ件	五三〇
----	-----	-------	-------------------------	-----------------------------	-----

四	一七四	二月十四日	在ポートランド井田領事ヨリ 牧野外務大臣宛	「オレゴン」州法及「ポートランド」 市条例ニ於ケル外國人關係規定報告 ノ件	一八〇
---	-----	-------	--------------------------	---	-----

附屬書

右規定	一八一
-----	-----

一	三二	二月十六日	在米國珍田大使ヨリ 牧野外務大臣宛(電報)	上院外交委員長逝去ハ日米協約交渉 ニ若干影響スベキ件	四七
---	----	-------	--------------------------	-------------------------------	----

一四	三一六	二月十六日	在リマ森領事ヨリ 牧野外務大臣宛	森岡移民会社及東洋移民会社取扱移 民到着ニ付報告ノ件	四六四
----	-----	-------	---------------------	-------------------------------	-----

一五	三五六	二月十六日	牧野外務大臣ヨリ 在伯國畑公使宛(電報)	「サンパウロ」州行本邦移民解約決 定ノ撤回方ニ関シ意見問合ノ件	五三〇
----	-----	-------	-------------------------	------------------------------------	-----

一九	五三七	二月十六日	在墨國安達公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電報)	北墨在留邦人失業者ヲ「カレキシコ」 方面ニ移動ノ為米國內通過方ニ関ス ル件	八〇四
----	-----	-------	--------------------------	---	-----

五	一八八	二月十七日	在桑港沼野總領事代理ヨリ 牧野外務大臣宛(電報)	米國移民總監ガ上院委員會ニ於テ本 邦人移民排斥ノ言説ヲ為セル旨ノ新 聞報道ノ件	二五五
---	-----	-------	-----------------------------	---	-----

別電

同日在桑港沼野總領事代理發牧野外務大臣宛電報第 四二号別電	二五六
右新聞報道ハ虛報ナル件	二五六

一五	三五七	二月十七日	在伯國畑公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電報)	「サンパウロ」州政府ノ同州行本邦 移民解約決定ハ翻ス余地ナキ旨回電 ノ件	五三〇
----	-----	-------	-------------------------	--	-----

一五	三五八	二月十七日	在伯國畑公使ヨリ 牧野外務大臣宛	「ブラジル」行移民携帯旅券ノ伯國 領事官ニ依ル査証方ニ関シ調査回報 ノ件	五三一
----	-----	-------	---------------------	--	-----

附屬書

伯國聯邦土地移民規則拔萃	五三二
--------------	-----

一六	四四五	二月十七日	牧野外務大臣ヨリ 寺内朝鮮總督宛	在鮮各國居留地整理ニ関連シ仁川俱 楽部等ノ借地契約引繼ニ関スル疑義 及日本人ニ移転シタル永代借地權ノ 取扱振ニ付問合ノ件	六八八
----	-----	-------	---------------------	---	-----

一四	三一七	二月十八日	谷口鹿兒島県知事ヨリ 坂田通商局長宛	「ペルー」著後逃亡セル本邦移民ノ 募集當時ノ状況回報ノ件	四六五
----	-----	-------	-----------------------	---------------------------------	-----

一九	五三八	二月十八日	在墨國安達公使ヨリ 牧野外務大臣宛	墨國北部叛徒ノ日本人排斥ノ風説ニ 関スル件	八〇五
----	-----	-------	----------------------	--------------------------	-----

一五 三五九 二月二十日 在伯国烟公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

我「ブラジル」行移民ニ関シ自由移
民奨励ノ方針採用方上申ノ件……………五三三

一八 四九六 二月二十日 在齊々哈爾吉原事務代理ヨリ
牧野外務大臣宛

中国側ノ呼倫貝爾回收策ニ関シ報告
ノ件……………七三五

一八 四九七 二月二十日 在露国本野大使ヨリ
牧野外務大臣宛

蒙古活仏ヨリ天皇陛下宛書翰ノ内容
報告ノ件……………七三六

附屬書 右書翰ノ和訳文……………七三六

四 一七五 二月二十一日 在ポートランド井田領事ヨリ
牧野外務大臣宛

「オレゴン」州「アストリア」市ノ
「チャーター」ニ付報告ノ件……………二〇〇

附屬書

右「チャーター」抜抄……………二〇〇

六 二〇六 二月二十二日 在米国珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

米国上院ハ日米仲裁裁判条約更新協
約ヲ協賛シタルニ付請訓ノ件……………二六七

一五 三六〇 二月二十三日 牧野外務大臣ヨリ
在リオデジャネイロ松村総領
事宛

「ブラジル」行呼寄移民旅費補給資
格ニ関スル件……………五三五

一六 四四六 二月二十三日 山県朝鮮總督府政務總監ヨリ
松井外務次官宛

仁川ノ仁川俱樂部等ノ借地契約及日
本人ニ移転シタル永代借地権ニ付回
答ノ件……………六八八

一 三三三 二月二十五日 在米国珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

日米協約案ノ上院外交委員会ヘノ内
議延引ニ付國務長官ヨリ電話アリタ
ル件……………四七七

六 二〇七 二月二十五日 牧野外務大臣ヨリ
在米国珍田大使宛(電報)

各国ノ対米仲裁裁判条約更新協約ノ
取扱方ニ関シ問合ノ件……………二六七

附 記 一 日米仲裁裁判条約更新協約御批准奏請ニ関シ枢密院
書記長官意見……………二六七

二 「条約ノ更新ニ就イテ」……………二六八

一六 四四七 二月二十五日 松井外務次官ヨリ
山県朝鮮總督府政務總監宛
(電報)

露、仏、白国ノ在鮮領事館敷地及建
物免税ハ先方ノ要求通り容認シ差支
無キヤ問合ノ件……………六八九

一九 五三九 二月二十五日 牧野外務大臣ヨリ
在米国珍田大使宛(電報)

墨国「ジュアレス」「チワワ」ノ邦
人失業者百五十名ヲ米国内通過「カ
レキシコ」方面墨国側ヘ移動セシメ
タキニ付米國政府ノ同意取付交渉方
訓令ノ件……………八〇六

一九 五四〇 二月二十五日 在墨国安達公使ヨリ
牧野外務大臣宛

墨国ニ於ケル日本将来ノ施設経営ニ
関シ意見具申ノ件……………八〇六

一 三四 二月二十六日 在米国珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

日米協約案ノ上院外交委員会ヘノ提
示ヲ不得策トスル状勢ニ付國務長官
ヨリ弁疏ノ件……………四八八

一六 四四八 二月二十六日 山県朝鮮總督府政務總監ヨリ
松井外務次官宛(電報)

在鮮外國領事館敷地及建物免税ノ保
障ニ関シ回答ノ件……………六八九

一九 五四一 二月二十六日 在桑港沼野總領事代理ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

墨国北部邦人ノ消息及叛軍「カラン
サ」ノ邦人入国禁止ニ関スル件……………八〇九

一九 五四二 二月二十六日 在米国珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

墨国「ジュアレス」「チワワ」ノ邦
人失業者米国内通過移動ニ米國政府
同意ノ件……………八一〇

五 一八九 二月二十七日 在米国珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

米國移民諸法案ニ対スル抗議覚書及
「バーネット」移民法案ニ関スル非
公式書面ヲ國務長官ニ手交並朝鮮人
ノ渡米取締ニ付具申ノ件……………二五六

一八 四九八 二月二十七日 在齊々哈爾吉原事務代理ヨリ
牧野外務大臣宛

呼倫貝爾獨立取消ノ交渉ニ関スル新
聞報道報告ノ件……………七三八

一 三五 二月二十八日 在米國珍田大使ヨリ 牧野外務大臣宛(電報) 日米協約案中ノ最惠國民待遇ノ解釈ニ関シ意見回電ノ件……………四九

八 二五三 二月二十九日 在米國珍田大使ヨリ 牧野外務大臣宛(電報) 明治四十四年ノ臘納獸保護條約會議事録公表ニ関シ米國政府ヨリ問合ノ件……………三一八

三 月

一 三六 三月二日 在米國珍田大使ヨリ 牧野外務大臣宛(電報) 日米協約案中ノ最惠國民待遇ノ解釈等ニ付國務長官ニ提案スベキ場合ニ関シ請訓ノ件……………五〇

一一 二九五 三月二日 在浦潮坪上總領事代理ヨリ 坂田外務省通商局長宛 中瀬捨太郎ガ明治四十三年租借ノ沿海州漁場ニ輸入セル漁業用品ニ関スル浦潮地方裁判所ノ裁判ニ付輪旋ノ狀況報告ノ件……………三六一

附 記

大正二年十二月二十七日附坂田通商局長在浦潮野村總領事宛公信通送第一七四号 中瀬ガ明治四十三年租借ノ沿海州漁場ニ輸入セル漁業用品ニ関スル浦潮地方裁判所ノ裁判督促方訓令ノ件……………三六二

一 三七 三月三日 牧野外務大臣ヨリ 在米國珍田大使宛(電報) 日米協約案中ノ最惠國民ノ解釈等ニ付此際我方ヨリ問題ヲ提起セザル様回訓ノ件……………五〇

八 二五四 三月三日 松井外務次官ヨリ 橋本農商務次官宛 一九一一年ノ臘納獸保護條約會議事録公表ニ関シ意見問合ノ件……………三三八

一八 四九九 三月三日 福田關東都督府陸軍參謀長ヨリ 松井外務次官宛 露支協約締結後呼倫貝爾ニ對スル露支ノ態度ニ関スル觀測報告ノ件……………七三九

附 屬 書

關東都督府陸軍參謀部調查呼倫貝爾問題……………七三九

一九 五四三 三月三日 在墨國安達公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電報) 墨國「ジュアレス」「チワワ」ノ邦人失業者米國內通過移住ニ付馬場書記生「エルパソ」ヘ出張方及移住者ニ貸与スベキ旅費ヲ同書記生宛送金方稟請ノ件……………八一〇

四 一七六 三月四日 在シアトル高橋領事ヨリ 牧野外務大臣宛 於「アラスカ」領及「モンタナ」州ニ於ケル外國人ノ市民タル意思表示ニ……………二〇一

附 屬 書 一

一九〇六年六月十四日附「アラスカ」水域ニ於ケル外國人ノ漁業禁止法……………二〇二

二 一九一三年ノ「モンタナ」州ニ於ケル漁獲狩獵免許……………二〇二

一五 三六一 三月四日 在伯國畑公使ヨリ 牧野外務大臣宛 伯國行移民ニ對スル伊太利政府ノ方針ニ関スル件……………五三六

附 記

大正二年十二月二十八日在伯國畑公使ヨリ牧野外務大臣宛第一〇八号信 伊國移民伯國輸送禁止令取消ニ関スル件……………五三八

一九 五四四 三月四日 在米國珍田大使ヨリ 牧野外務大臣宛(電報) 墨國邦人失業者ノ移住スベキ地方ハ墨國官軍ノ勢力範圍内ノ由ノ件……………八一

一五 三六二 三月五日 牧野外務大臣ヨリ 在伯國畑公使宛(電報) 「サンパウロ」州行本邦移民解約問題ニ関シ同州政府ニ對シ現状維持又ハ補助金減額ニ依ル契約維持ノ運動方針決定並青柳ノ計畫中止ノ件……………五三九

附 記

伯国行移民補助契約解除一件

五四〇

一九 五四五 三月五日 在シカゴ阿部領事ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

在墨邦人失業者ノ移動ハ關係地方日
本人会ヲシテ斡旋セシムル方可ナル
旨意見稟申ノ件

八 二五五 三月六日 橋本農商務次官ヨリ
松井外務次官宛

一九一一年ノ臘納獸保護条約會議
事録公表差支ナキ旨回答ノ件

八 二五六 三月六日 牧野外務大臣ヨリ
在米国珍田大使宛(電報)

一九一一年ノ臘納獸保護条約會議
事録ノ公表ニ異議ナキ旨回訓ノ件

一四 三二八 三月六日 在リマ森領事ヨリ
牧野外務大臣宛

「ペルー」行移民渡航費用ノ東洋及
森岡両会社間ノ差違ニ關シ調査報告
ノ件

一九 五四六 三月六日 在墨国安達公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

墨国「ジュアレス」地方邦人失業者
ノ移動ニ付關係者ト打合ノ状況電報
ノ件

一四 三二九 三月七日 在リマ森領事ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

東洋移民会社ノ「タンボ、レアル」
耕地行移民供給契約証認ノ件

一四 三三〇 三月七日 在リマ森領事ヨリ
牧野外務大臣宛

東洋移民会社ノ「ペルー」国「タン
ボ、レアル」耕地ヘノ移民供給契約
証認ニ關シ詳細報告ノ件

附 屬 書

東洋移民会社
出ノ誓約書

四八九

一 三八 三月九日 牧野外務大臣ヨリ
在米国珍田大使宛(電報)

「ムリア」氏辭職ノ理由及其日米協
約交渉ニ及ボス影響問合ノ件

一 三九 三月九日 在米国珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

「ムリア」氏ノ辭職事情及其日米協
約交渉ニ及ボス影響ニ付回電ノ件

一九 五四七 三月九日 在墨国安達公使ヨリ
牧野外務大臣宛

日墨關係ニ關連セル米国側ノ觀察ニ
關シ報告ノ件

一九 五四八 三月十日 在墨国公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

軍艦出雲ノ今後ノ進退ニ關シ考慮方
同艦艦長ヘ電報ノ件

一 四〇 三月十三日 在米国珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

日米協約案ヲ上院委員會ニ附議ノ時
期ニ付國務長官ニ問合ノ件

五 一九〇 三月十三日 在米国珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

「バーネット」移民法案中ノ帰化無
能力者入国禁止条項ニ對スル我方ノ
異議ニ關シ國務長官ト会谈ノ件

五 一九一 三月十三日 在米国珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

「バーネット」移民法案ニ對スル異
議ニ關シ請訓ノ件

五 一九二 三月十三日 在米国珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

「バーネット」移民法案中ノ帰化能力
ノ有無ニ基ク差別待遇ノ主要項目ト
シテ國務長官ニ指摘セル条項報告ノ
件

一五 三六三 三月十三日 在伯国畑公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

「サンパウロ」州行本邦移民解約問
題ニ關スル訓令ニ對シ意見上申ノ件

一六 四四九 三月十三日 山県朝鮮總督府政務總監ヨリ
松井外務次官宛(電報)

在鮮各国居留地廢止正式協定ノ調印
終了日時問合ノ件

四 一七七 三月十四日 在桑港沼野總領事代理ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

加州州法及市条例ニ於ケル外国人ノ
市民タル意思表示ニ關スル規定報告
ノ件

一四 三一八 三月十四日 在リマ森領事ヨリ
牧野外務大臣宛

森岡移民会社ト「ペルー」国「ツマ
ン」農業会社外三者ノ移民供給契約
証認ノ件

一六 四五〇 三月十四日 松井外務次官ヨリ
山県朝鮮總督府政務總監宛
(電報) 在鮮各国居留地廃止協定結了時期ノ
件 六九〇

六 二〇八 三月十七日 在米國珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報) 関シ回報ノ件 二七〇

一六 四五一 三月十七日 牧野外務大臣ヨリ
在本邦英國大使宛 在鮮各国居留地廃止下協議会ノ議定
書是認ニ付提起セラレタル諸疑点ニ 六九〇
関シ説明ノ件

一九 五四九 三月十七日 埴原外務書記官ヨリ
牧野外務大臣宛 墨国出張復命書提出ノ件 八一四

四 一七八 三月十八日 在シアトル高橋領事ヨリ
牧野外務大臣宛 「アラスカ」領及「モンタナ」州ニ
於ケル外国人ノ市民タル意思表示ニ 二〇四
関スル規定ニ付追報ノ件

附屬書一 「アラスカ」領ノ酒類販売法抜抄……………二〇五

二 「アラスカ」領ノ弁護士法抜抄……………二〇六

三 「アラスカ」領ノ公有地分譲法及鉱業法抜抄……………二〇六

四 「モンタナ」州ノ弁護士法抜抄……………二一〇

五 「モンタナ」州ノ公認會計士法抜抄……………二一〇

六 「モンタナ」州ノ公立学校教員資格檢定法抜抄……………二二三

五 一九三 三月十八日 牧野外務大臣ヨリ
在米國珍田大使宛(電報) 「バーネット」移民法案中帰化能力
ノ有無ヲ標準トスル規定ニ対スル我
方ノ方針ニ関シ回訓ノ件 二五九

一八 五〇〇 三月十八日 福田関東都督府陸軍參謀長ヨリ
松井外務次官宛 蒙華蒙境界劃定ニ関スル予想報告ノ
件 七四〇

附屬書 関東都督府陸軍參謀部調査右予想……………七四一

附記 三月三十一日蒙古情報第六号(參謀本部ヨリ送付)……………七四四

一八 五〇一 三月十八日 在齊々哈爾吉原事務代理ヨリ
牧野外務大臣宛 海拉爾政府庁ノ呼倫貝爾地方漁区ヲ
日本人ニ対シ払下ニ関スル件 七四八

一九 五五〇 三月十八日 在墨国安達公使ヨリ
牧野外務大臣宛 墨国外相ノ墨国時局ニ関スル悲觀的
談話報告ノ件 八四三

附屬書 三月十三日附墨国農務及殖民大臣ヨリ安達公使宛書……………八四四

翰和訳文
日本移民歡迎ニ関スル件

五 一九四 三月十九日 在米國珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報) 「バーネット」移民法案中帰化能力
ノ有無ヲ標準トスル規定ニ対スル我
方ノ方針ノ回訓ニ付國務長官ト会谈
ノ件 二六〇

一五 三六四 三月二十日 牧野外務大臣ヨリ
在伯國烟公使宛(電報) 「サンパウロ」州政府ヨリ一人八磅
補助協定ノ成効見込等ニ付問合ノ件 五四二

一五 三六五 三月二十日 牧野外務大臣ヨリ
在桑港沼野總領事代理宛 「サンパウロ」州政府加州日本人状
態調査ノ実否問合ノ件 五四二

一五 三六六 三月二十日 在桑港沼野總領事代理ヨリ
牧野外務大臣宛(電報) 「サンパウロ」州政府ノ加州日本人
情況調査ニ関シ回答ノ件 五四二

一六 四五二 三月二十日 牧野外務大臣ヨリ
在本邦米國大使宛 在鮮各国居留地廃止下協議会ノ議定
書是認ノ形式完結ノ件 六九三

一六 四五三 三月二十日 牧野外務大臣ヨリ
在本邦仏國大使宛 在鮮各国居留地廃止下協議会ノ議定
書是認ノ形式完結ノ件 六九三

一六	四五四	三月二十日	牧野外務大臣ヨリ 在本邦露国大使宛	在鮮各国居留地廃止下協議会ノ議定 書是認ノ形式完結ノ件……………六九四
一六	四五五	三月二十日	牧野外務大臣ヨリ 在本邦独国大使宛	在鮮各国居留地廃止下協議会ノ議定 書是認ノ形式完結ノ件……………六九四
一六	四五六	三月二十日	牧野外務大臣ヨリ 在本邦伊国大使宛	在鮮各国居留地廃止下協議会ノ議定 書是認ノ形式完結ノ件……………六九五
一六	四五七	三月二十日	牧野外務大臣ヨリ 在本邦白国公使宛	在鮮各国居留地廃止下協議会ノ議定 書是認ノ形式完結ノ件……………六九五
一四	三一九	三月二十三日	坂田通商局長ヨリ 安樂警視總監宛	「ペルー」国「パラモンガ」耕地等 行契約移民承認通知ニ関スル件……………四七四
一四	三二〇	三月二十三日	坂田通商局長ヨリ 宮城県外十県知事各宛	「ペルー」国「パラモンガ」耕地等 行移民ハ純農夫ヲ選択スル様注意方 ニ関スル件……………四七五
一五	三六七	三月二十三日	牧野外務大臣ヨリ 在伯国畑公使宛（電報）	「サンパウロ」州政府ノ加州日本人 情況調査ヲ前葡国公使ニ委託ノ動機……………五四三
二〇	六四七	三月二十三日	在澳洪国西臨時代理大使ヨリ 牧野外務大臣（電報）	独国皇帝ノ澳洪国皇帝訪問ニ関シ報 告ノ件……………九〇四
一五	三六八	三月二十四日	在伯国畑公使ヨリ 牧野外務大臣宛（電報）	「サンパウロ」州政府ノ補助協定成 効ノ見込ニ関シ回電ノ件……………五四三
一六	四五八	三月二十四日	寺内朝鮮総督ヨリ 牧野外務大臣宛	在鮮各国居留地廃止四月一日実施ノ 手順ニ関スル件……………六九六
一六	四五九	三月二十五日	牧野外務大臣ヨリ 在本邦英國大使宛	在鮮各国居留地撤廃ニ関スル議定書 是認督促ノ件……………六九六
一六	四六〇	三月二十五日	牧野外務大臣ヨリ 寺内朝鮮総督宛	在鮮各国居留地廃止ハ英國トノ交渉 終了ヲ待チ実施セラレ度キ件……………六九七

一六	四六一	三月二十五日	牧野外務大臣ヨリ 在本邦中国公使宛	在鮮中国居留地四月一日廃止ノ予定 ニ付右ニ関スル小松、富間協定至急 承認方要請ノ件……………六九七
一六	四六二	三月二十五日	牧野外務大臣ヨリ 寺内朝鮮総督宛	在鮮中国居留地廃止四月一日実施予 定ニ関スル件……………六九八
一八	五〇二	三月二十五日	関東都督府佐藤民政長官代理 ヨリ 松井外務次官宛	呼倫貝爾獨立取消ニ付蒙古總監勝福 ノ提出セル条件ニ関シ報告ノ件……………七四九

附屬書

右条件ニ関スル大連民政署長報告……………七四九

一九	五五一	三月二十五日	在墨国安達公使ヨリ 牧野外務大臣宛	墨国官叛兩軍ニ本邦人参加防止方ニ 付請訓ノ件……………八四五
一〇	二八六	三月二十六日	在本邦露国大使ヨリ 牧野外務大臣宛	図們江漁業協約締結ニ関スル露国ノ 提議ニ付日本政府ノ意向問合ノ件……………三三六
一五	三六九	三月二十六日	牧野外務大臣ヨリ 在伯国畑公使宛（電報）	「サンパウロ」州行本邦移民解約ニ 対スル善後措置ニ関シ畑公使ノ意見……………五四三
一六	四六三	三月二十六日	牧野外務大臣ヨリ 在本邦露米、独、伊各 大使及在本邦白国公使宛	朝鮮總督府ハ在鮮各国居留地ヲ四月 一日廃止ノ予定ナル旨通知ノ件……………六九八
一六	四六四	三月二十六日	在本邦露国大使ヨリ 牧野外務大臣宛	在鮮各国居留地廃止議定書是認ニ付 露国ハ将来本件ニ関シ最惠国待遇ヲ 与ヘラルモノト了解スル旨申出ノ 件……………六九九
一六	四六五	三月二十七日	牧野外務大臣ヨリ 在英國井上大使宛（電報）	在鮮各国居留地廃止議定書是認ニ付 英國ガ朝鮮全部ニ於ケル土地取得ノ 権能ヲ要請シ居ル事態通報ノ件……………六九九

一六 四六六 三月二十七日 在本邦独国大使ヨリ 牧野外務大臣宛 在鮮各国居留地廃止議定書ニ対スル 關係国ノ態度及他国ニ許与セラレタル 諸点ニ関シ問合ノ件……………七〇〇

一九 五五二 三月二十七日 在墨国安達公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電報) 北墨地方ノ邦人失業者「メキシカリ」 転住ニ付馬場書記生ノ措置報告ノ件……………八四六

一一 二九六 三月二十八日 在蒲潮坪上総事代理ヨリ 坂田通商局長宛 中瀬捨太郎ガ沿海州漁場ニ輸入セル 漁業用品ニ関スル裁判ハ不起訴ニ決 シ松尻供託金千留ヲ露領水産組合副 組合長ニ交付シ置キタル旨報告ノ件……………三六四

一六 四六七 三月二十八日 牧野外務大臣ヨリ 在本邦英国大使宛 在鮮各国居留地廃止ニ関連シ外国人 ノ土地取得權ハ現行法ノ有効期間存 続スベキ旨保障ノ件……………七〇一

附記 三月二十七日松井外務次官ト英国大使トノ会谈要領……………七〇一 覚書

一六 四六八 三月二十八日 牧野外務大臣ヨリ 在英國井上大使宛(電報) 英国ハ外国人ノ在鮮土地取得權ニ対 スル我保障ニ満足シ在鮮各国居留地 廃止議定書ヲ是認セル旨通報ノ件……………七〇二

一九 五五三 三月二十八日 牧野外務大臣ヨリ 在米國珍田大使宛(電報) 三井ノ墨國官軍側ヘノ山砲売込ハ不 可ナル旨申聞ケタル件……………八四六

一六 四六九 三月二十九日 在本邦英国大使ヨリ 牧野外務大臣宛 英国政府 在鮮各国居留地廃止議定書 是認ノ件……………七〇二

一六 四七〇 三月二十九日 在本邦伊国大使ヨリ 牧野外務大臣宛 伊国政府ニ依ル在鮮各国居留地廃止 議定書是認ノ件……………七〇三

一九 五五四 三月二十九日 在墨国安達公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電報) 出雲墨國「クリアカン」ニ来港セバ 大歡迎スベシト革命軍ヨリ申出ノ件……………八四七

一六 四七一 三月三十日 牧野外務大臣ヨリ 在本邦仏国大使宛 在鮮各国居留地廃止議定書ヲ文書交 換ノ形式ニテ是認スル案ニ付回答ノ……………七〇四

一六 四七二 三月三十日 牧野外務大臣ヨリ 在本邦露國大使宛 在鮮各国居留地廃止議定書是認ニ関 シ露國及露國臣民ニ対スル最惠國待 遇保障ノ件……………七〇四

一六 四七三 三月三十日 牧野外務大臣ヨリ 在本邦露國大使宛 在鮮各国居留地廃止議定書是認ニ対 スル關係国ノ態度及此際他国ニ許与 セラレタル諸点ニ付回答ノ件……………七〇五

一六 四七四 三月三十日 在本邦仏国大使ヨリ 牧野外務大臣宛 在鮮各国居留地廃止ニ関シ仏國ハ最 惠國待遇享受ヲ条件トシテ議定書ヲ……………七〇五

一〇 二八七 三月三十一日 松井外務次官ヨリ 山県朝鮮總督府政務總監宛 日露兩國間ノ図們江及其ノ附近海面 ノ漁業ニ関スル協定案附属宣言書ノ……………三三七 修正ニ付照会ノ件

附記一 大正二年六月二十五日附阿部政務局長ヨリ小松外事 局長宛半公信 図們江漁業協定要項案及同江下流ノ境界等協定要項……………三三八 案送付ノ件

附記(一)附屬一 右漁業協定要項案……………三三九

二 右境界等協定要項案……………三四二

二 図們江漁業協定要項修正理由……………三四三

三 図們江下流境界等協定要項修正理由……………三四六

四 大正二年七月十八日附小松外事局長ヨリ阿部政務局 長宛書信 漁業及境界等ニ関スル兩協定要項ノ修正ニ異議ナキ 件……………三四六

一五	三七〇	三月三十一日	在伯国畑公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電報)	「サンパウロ」州政府ノ加州日本人 情況調査「ラムプレイア」ニ委託ノ 動機回答ノ件……………五四四
一六	四七五	三月三十一日	牧野外務大臣ヨリ 在本邦英国大使宛	英国政府ノ在鮮各国居留地廃止議定 書は認ニ満足ヲ表シ且仁川俱樂部等 ノ借地契約引継ニ関シ通告ノ件……………七〇六
一六	四七六	三月三十一日	在本邦白国公使ヨリ 牧野外務大臣宛	在鮮各国居留地廃止議定書は認ノ件……………七〇七
一六	四七七	三月三十一日	在本邦中国公使ヨリ 牧野外務大臣宛	在鮮各国居留地廃止議定書及中国居 留地廃止協定承認ノ件……………七〇八
二〇	六四八	三月三十一日	在壤洪西臨時代理大使ヨリ 牧野外務大臣宛	独国皇帝ノ壤洪国訪問ノ政治的意義 ニ関シ報告ノ件……………九〇四

四月

一八	五〇三	四月一日	牧野外務大臣ヨリ 在露国本野大使、在中国山座 公使各宛	児玉利正蒙古視察記抜萃写送付ノ件……………七五〇
三	一六三	四月二日	牧野外務大臣ヨリ 在桑港沼野總領事代理宛 (電報)	松尾横井田崎ノ遺産ニ関スル手続電 報方ノ件……………一七二
一五	三七一	四月二日	牧野外務大臣ヨリ 在桑港沼野總領事代理宛 (電報)	「サンパウロ」州政府加州日本人情 況調査ニ便宜供与方ノ件……………五四四

附屬書

児玉利正蒙古視察記抜萃写……………七五一

一八	五〇四	四月五日	在露国本野大使ヨリ 牧野外務大臣宛	呼倫貝爾ノ独立取消問題ニ関スル露 国政府ノ意向ニ関スル件……………七六三
三	一六四	四月七日	在桑港沼野總領事代理ヨリ 牧野外務大臣宛(電報)	松尾横井田崎ノ加州遺産ニ関スル手 続ノ状況報告ノ件……………一七二
一〇	二八八	四月七日	山県朝鮮總督府政務總監ヨリ 松井外務次官宛(電報)	図們江漁業協定案要項附屬宣言書ノ 修正ニ同意ノ件……………三四六
一六	四七八	四月七日	牧野外務大臣ヨリ 在本邦中国公使宛	中国ニ依ル在鮮各国居留地廃止議定 書及中国居留地廃止協定承認ニ関シ 回答ノ件……………七〇九
一〇	二八九	四月八日	牧野外務大臣ヨリ 山本總理大臣宛	日露間ノ図們江及其附近海ニ於ケル 漁業協定並同江下流ノ境界及交通等 ノ協定締結ニ付閣議請求ノ件……………三四六
一二	三〇二	四月八日	在オタワ矢田總領事ヨリ 牧野外務大臣宛	英領「コロンビア」州官有林伐採ニ 日本人使用禁止問題ニ付「カナダ」 首相トノ会谈ノ模様報告及我方ノ執 ルヘキ措置ニ付請訓ノ件……………三七八
一一	二九七	四月九日	坂田通商局長ヨリ 北海道函館支庁長宛	中瀬捨太郎沿海州漁場ニ輸入ノ漁業 用品ニ関スル裁判不起訴決定ニ付右 本人ヘ示達方依頼ノ件……………三六四
一九	五五五	四月九日	在墨国安達公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電報)	北墨邦人失業者転住ニ関シ馬場書記 生ノ「カレキシユ」出張ヲ稟請ノ件……………八四七
一九	五五六	四月九日	在墨国安達公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電報)	墨国「トレオン」在留邦人全員無事 ナル旨同地英国領事ヨリ電報アリタ ル件……………八四八
一	四一	四月十日	在米国珍田大使ヨリ 牧野外務大臣宛(電報)	土地所有権者ニ関スル日米協約案ヲ 上院外交委員ニ提示遷延ノ事情報告……………五二二

一九 五五七 四月十日 牧野外務大臣ヨリ
在シカゴ阿部領事宛(電報) 北墨邦人失業者転住ニ関シ馬場書記
生「カレキシコ」出張方訓令ノ件……………八四八

一九 五五八 四月十日 牧野外務大臣ヨリ
在墨国安達公使宛(電報) 北墨邦人失業者転住ニ関シ馬場書記
生「カレキシコ」出張方電訓ノ旨通
報ノ件……………八四八

一〇 二九〇 四月十三日 牧野外務大臣ヨリ
在本邦露国大使宛 図們江及其附近海面ニ於ケル漁業ニ
関スル協定案並同江下流ニ於ケル境
界、航行、交通及貨物輸出入ニ関ス
ル協定案送付ノ件……………三四七

一五 三七二 四月十三日 在リオデジャネイロ松村総領
事ヨリ 牧野外務大臣宛 「ブラジル」行呼寄移民旅費補給資
格ニ関スル件……………五四五

附屬書一 大正二年十一月二十八日付在「リオデジャネイロ」
野田総領事代理ヨリ「サンパウロ」州農商工部長官……………五五〇
宛書翰訳文

二 大正二年十二月九日附右返翰訳文……………五五二
三 「サンパウロ」州移植民規則抜萃訳文……………五五二

一〇 二九一 四月十四日 牧野外務大臣ヨリ
寺内朝鮮總督宛 日露兩國間ニ図們江及其附近海面ニ
於ケル漁業ニ関スル條約並同江下流
ニ於ケル境界交通等ニ関スル條約締
結ノ件……………三五五

一七 四八七 四月十四日 在英國井上大使ヨリ
牧野外務大臣宛 朝鮮總督暗殺陰謀関与者特赦方ノ歎
願書転送ノ件……………七一九

附屬書 四月十一日附「バルフォア」男爵ヨリ井上大使宛
来翰写 右歎願書送付ノ件……………七一九

一四 三二一 四月十五日 在リマ森領事ヨリ
牧野外務大臣宛 森岡移民合名会社取扱移民到着ニ付
報告ノ件……………四七五

一九 五五九 四月十五日 在墨国安達公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報) 墨国官叛兩軍激戰中「タンピコ」在
留邦人無事ナル旨同港英國艦隊司令……………八四九
長官ヨリ報告アリタルノ件

一九 五六〇 四月十五日 在米國珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報) 米國軍艦ヨリ「タンピコ」ニ上陸セ
セル主計官及水兵若干墨国官軍ニ逮捕……………八四九
セラレタル件

一 四二 四月十六日 在米國珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報) 加州問題ニ関スル新内閣ノ意向訓示
方稟請並國務長官ヨリ大隈首相ニ祝
意伝達方依頼ノ件……………五二

一一 二九八 四月十六日 在浦潮野村總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛 「オホック」「カムチャッカ」沿岸
ニ於ケル露国人漁業發展策ニ関スル……………三六四
浦潮商工会議所意見書訳報ノ件

附屬書 右意見書訳文……………三六五

一四 三二二 四月十六日 在リマ森領事宛
加藤外務大臣ヨリ 「ペルー」国「パラモンガ」「カニ
エテ」「サンニコラス」三耕地行移……………四七六
民募集ヲ承認セル事情通報ノ件

一五 三七三 四月十六日 在伯國畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛 伯國農務大臣ト会谈報告並ニ聯邦移
民規則改正ニ対スル我希望事項ニ付……………五五六
請訓ノ件

一 四三 四月十八日 在米國珍田大使宛(電報)
加藤外務大臣ヨリ 加州問題及國務長官ノ祝辭ニ関シ回
訓ノ件……………五三

一四 三三一 四月十八日 在リマ森領事ヨリ
加藤外務大臣宛(電報) 「タンボ、レアル」耕地競売予定ノ……………四八九
件

一九 五六一 四月十八日 在墨国安達公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報) 八四九
一九 五六一 四月十八日 在独国杉村大使ヨリ
加藤外務大臣宛 八五〇

附屬書

四月十七日朝刊「テークリッヘルンドシャウ」掲載 八五一
ノ論文要訳

八 二五七 四月二十日 在本邦英国大使ヨリ
加藤外務大臣宛 三一九

「プリビロフ」群島ノ臘牒狀ノ状況
調査ノ為日米加ノ専門委員ヲ同島ニ
派遣方提議ノ件 八五九

一九 五六三 四月二十日 在墨国安達公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報) 八五四
二〇 六四九 四月二十日 在独国西臨時代理大使ヨリ
加藤外務大臣宛 九〇七

洪牙利在野党ノ三国同盟反对運動ニ
関シ報告ノ件 九〇七

一九 五六四 四月二十一日 在墨国安達公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報) 八五五
一九 五六五 四月二十一日 在墨国安達公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報) 八五五

米墨間ノ紛争ニ付我方ノ執ルベキ態
度ニ関スル件 八五五

一九 五六六 四月二十一日 在墨国安達公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報) 八五六
一九 五六七 四月二十一日 在墨国安達公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報) 八五七

在米墨國臨時代理大使召還ノ場合
付請訓ノ件 八五六
墨國ノ通信杜絶ノ場合ニ於ケル措置
振ニ付予メ請訓ノ件 八五七

一九 五六八 四月二十一日 在墨国安達公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報) 八五七

「タンピコ」事件ニ関スル米墨交渉
決裂ノ件 八五七
米墨關係切迫ノ今日墨國官憲ニ對シ
助言又ハ意見陳述ヲ為サザル様訓示
ノ件 八五九

一九 五六九 四月二十一日 在米國珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報) 八五八
一九 五七〇 四月二十一日 在米國珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報) 八五八

米國海軍墨國「ヴェラクルス」港稅
関ヲ占領ノ件 八五八

一九 五七一 四月二十二日 在墨国安達公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報) 八五八
一九 五七二 四月二十二日 在墨国安達公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報) 八五九

在米墨國臨時代理大使召還ノ場合墨
國利益保護ノ要請拒絶方回訓ノ件 八五九

一九 五七三 四月二十二日 在墨国安達公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報) 八五九
一九 五七四 四月二十二日 在米國珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報) 八五九

在米墨國臨時代理大使ヨリ同國大使
館及領事館ノ文書保管方要請ニ付請
訓ノ件 八五九

別電

同日在米國珍田大使發加藤外務大臣宛第一一四号 八六〇
墨國臨時代理大使ニ對スル本國政府訓令 八六〇

二〇 六五〇 四月二十二日 在獨洪國西臨時代理大使ヨリ
加藤外務大臣宛 九一〇

澳伊兩國外相「アバチア」會見ニ関
シ報告ノ件 九一〇

一九 五七五 四月二十三日 在米墨國大使館及領事館ノ文書保管
ノ要請拒絶方回訓ノ件 八六〇
附記 四月二十三日加藤外務大臣ト在本邦米國大使トノ會
談要領 八六〇

一九 五七六 四月二十三日 在墨國安達公使及桑港沼野總
領事代理宛(電報) 八六二
在米墨間時局ニ鑑ミ在墨邦人ノ保護ニ
関スル応急手段ニ付意見提示方訓令 八六二

一九	五七七	四月二十三日	在墨国安達公使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	在米墨国臨時代理大使召還ノ場合ノ 墨国利益保護拒絶申入ノ件	八六二
一九	五七八	四月二十三日	在桑港沼野總領事代理ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	出雲艦長ヨリ海軍大臣宛米墨間時局 ニ関スル電報取次ノ件	八六二
一九	五七九	四月二十三日	在墨国安達公使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	在米墨国利益保護拒絶後ノ墨国人ノ 對邦人態度憂慮セラルルニ付墨国ニ 於ケル米国利益保護引受ハ好マシカ ラサル旨電稟ノ件	八六三
一四	三三二	四月二十四日	川田東洋移民合資会社社長ヨ リ 加藤外務大臣宛	「ペルー」国「タンボ、レアル」耕 地行日本移民ト東洋移民会社間ノ書 面契約案承認願出ノ件	四八九
一九	五八〇	四月二十四日	加藤外務大臣ヨリ 大隈總理大臣外各大臣及各元 老宛	「米墨關係ノ法的性質」送付ノ件	八六四

附屬書

米墨關係ノ法的性質

米墨紛争ニ對スル日本ノ態度發表ノ
必要ニ関スル件

一九	五八一	四月二十五日	在埃洪国西臨時代理大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	在米墨紛争ニ對スル日本ノ態度發表ノ 必要ニ関スル件	八六七
----	-----	--------	------------------------------	------------------------------	-----

一九	五八二	四月二十五日	在米国珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	在墨邦人ノ米國へ避難ヲ希望スル者 ニ對スル米國側ノ便宜供与ニ関シ國 務長官ヨリ申出ノ件	八六八
----	-----	--------	--------------------------	---	-----

一九	五八三	四月二十六日	在米国珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	米墨紛争ニ對スル南米三国ノ居中調 停申込ヲ米國受諾等報告ノ件	八六八
----	-----	--------	--------------------------	-----------------------------------	-----

一六	四七九	四月二十七日	加藤外務大臣ヨリ 寺内朝鮮總督宛	在鮮各国居留地廃止ニ関スル關係諸 國トノ交渉顛末通報ノ件	七〇九
----	-----	--------	---------------------	---------------------------------	-----

附屬書

在朝鮮各国居留地廃止ノ顛末

七〇九

一六	四八〇	四月二十七日	加藤外務大臣ヨリ 在英國井上大使宛	在鮮各国居留地廃止ニ関スル關係諸 國トノ交渉顛末通報ノ件	七一五
----	-----	--------	----------------------	---------------------------------	-----

一六	四八一	四月二十七日	加藤外務大臣ヨリ 在露米、独、仏、伊各國大 使在白國公使宛	在鮮各国居留地廃止ニ関スル關係諸 國トノ交渉顛末通報ノ件	七一六
----	-----	--------	-------------------------------------	---------------------------------	-----

一六	四八二	四月二十七日	山県朝鮮總督府政務總監ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	在鮮各国居留地廃止ニ関スル議定書 ハ条約ト見做シ差支ナキヤ問合ノ件	七一六
----	-----	--------	------------------------------	--------------------------------------	-----

一九	五八四	四月二十七日	在米国珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	米墨紛争ノ居中調停提案ニ関連シ國 務長官ヨリ日本政府ノ処置ニ付質問 ノ件	八六九
----	-----	--------	--------------------------	--	-----

一九	五八五	四月二十七日	加藤外務大臣ヨリ 在埃洪国西臨時代理大使宛 (電報)	日墨關係ニ関スル無根ノ報道訂正方 ニ付回訓ノ件	八六九
----	-----	--------	----------------------------------	----------------------------	-----

一九	五八六	四月二十七日	加藤外務大臣ヨリ 在米国珍田大使宛(電報)	米國ニ避難希望ノ在墨邦人ヘノ便宜 供与ニ関スル國務長官申出ニ付回訓 ノ件	八六九
----	-----	--------	--------------------------	--	-----

一九	五八七	四月二十七日	在墨国安達公使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	南米三国ノ米紛争居中調停ニ関スル 在墨國伯、英公使ノ談話報告ノ件	八七〇
----	-----	--------	--------------------------	-------------------------------------	-----

一四	三三三	四月二十八日	伊沢警視總監ヨリ 坂田通商局長宛	「ペルー」国「タンボ、レアル」行 移民募集用東洋移民会社印刷物認可 願ニ付協議ノ件	四九〇
----	-----	--------	---------------------	---	-----

附屬書

右認可願

四九一

二 右耕地行移民心得印刷文

四九一

一六	四八三	四月二十八日	加藤外務大臣ヨリ 山県朝鮮總督府政務總監宛 (電報)	在鮮各国居留地廃止議定書ニ関シ 「法令中ニ記載アル条約」ト云フ意 味問合ノ件	七一六
----	-----	--------	----------------------------------	--	-----

一六	四八四	四月二十八日	加藤外務大臣ヨリ 在中国山座公使宛	在鮮各国居留地及中国專管居留地廃止ニ関シ通報ノ件……………七一一
八	二五八	四月二十九日	在米国珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	「プリビロフ」群島ニ於ケル臘肭獸調査ノ為日米加専門委員派遣ノ英国提議ニ付請訓ノ件……………三二一
一六	四八五	四月二十九日	山県朝鮮總督府政務總監ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	在鮮各国居留地廃止議定書ガ法令ニ所謂条約ニ該当スルヤ問合ノ事情説明ノ件……………七一七
八	二五九	四月三十日	松井外務次官ヨリ 上山農商務次官宛	「プリビロフ」群島ニ於ケル臘肭獸ノ状況調査ノ為委員派遣ニ関スル件……………三二一
一五	三七四	四月三十日	坂田通商局長ヨリ 伊沢警視總監、永井高知県知事宛	「ブラジル」国行移民携帯旅券ノ査証ニ関スル件……………五五九
一九	五八八	四月三十日	在シカゴ阿部領事ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	「シカゴ」諸新聞米墨紛争ニ対スル日本ノ公正ナル態度ヲ賞讃ノ件……………八七〇
一九	五八九	四月三十日	在墨国安達公使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	墨国変乱ノ際ノ在墨邦人保護ノ手段ニ付回申ノ件……………八七一
一九	五九〇	四月三十日	在墨国安達公使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	南米三国ノ居中調停ニ依ル米墨紛争ノ解決ハ容易ニ期待シ難キ件……………八七二

五月

六	二〇九	五月一日	加藤外務大臣ヨリ 在米国珍田大使宛(電報)	批准書交換方在本邦米国大使ヨリ申出並批准交換済ノ国名問合ノ件……………二七〇
---	-----	------	--------------------------	--

六	二一〇	五月一日	在米国珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	批准交換済ノ国名回報ノ件……………二七一
---	-----	------	--------------------------	----------------------

一六	四八六	五月二日	加藤外務大臣ヨリ 山県朝鮮總督府政務總監宛(電報)	在鮮各国居留地廃止議定書ガ法令中ニ所謂条約ナルヤニ付回答ノ件……………七八
----	-----	------	------------------------------	---------------------------------------

一九	五九一	五月二日	在米国珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	南米三国ノ米墨紛争調停ニ関シ報告ノ件……………八七二
----	-----	------	--------------------------	----------------------------

一九	五九二	五月三日	在米国珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	米墨紛争ニ関聯シ墨国外相辭職ノ件……………八七三
----	-----	------	--------------------------	--------------------------

一〇	二九二	五月四日	児玉朝鮮總督府総務局長ヨリ 松井外務次官宛	露領居住ノ朝鮮人凶徒江中洲ニ於テ柳樹ヲ盜伐セル事件ニ付報告ノ件……………三五六
----	-----	------	--------------------------	---

一三	三〇八	五月四日	在シドニー清水總領事ヨリ 加藤外務大臣宛	一九一三年中ニ於ケル濠洲移民法ノ成績ニ関シ報告ノ件……………三九一
----	-----	------	-------------------------	-----------------------------------

一三	三〇九	五月四日	在シドニー清水總領事ヨリ 加藤外務大臣宛	連邦政府ヨリ議會ニ提出セル報告書ノ要領……………三九一
----	-----	------	-------------------------	-----------------------------

附屬書一

大正二年八月五日附在「クインスランド」州首相宛往電写	……………四〇一
----------------------------	----------

二	大正二年八月九日附「ク」州首相ヨリ「シドニー」日本總領事宛返電写	……………四〇一
---	----------------------------------	----------

三	大正二年八月十一日附在「シドニー」日本總領事代理ヨリ「ク」州首相宛往簡写	……………四〇一
---	--------------------------------------	----------

四	大正二年十月二日附在「シドニー」日本總領事代理ヨリ「ク」州首相宛往簡写	……………四〇二
---	-------------------------------------	----------

- 五 大正二年十月十一日附「ク」州首相ヨリ在「シドニー」日本総領事宛返簡写……………四〇三
- 六 大正二年十月十七日附在「シドニー」日本総領事代理ヨリ「ク」州首相宛往電写……………四〇三
- 七 大正二年十月十八日附「ク」州首相ヨリ在「シドニー」日本総領事代理宛来簡写……………四〇三
- 八 大正二年十月十六日附「ク」州官報ニ掲載セラレタル同州砂糖栽培法施行規則……………四〇四
- 九 「ク」州砂糖栽培法施行規則ニ対スル大正二年十一月二十七日日附追加規則写……………四一二
- 一〇 大正二年十月二十日附在「シドニー」日本総領事代理ヨリ「ク」州首相宛往電写……………四一三
- 一一 大正二年十月二十二日附「ク」州首相ヨリ在「シドニー」日本総領事宛来電写……………四一三
- 一二 大正二年十月二十七日附在「シドニー」日本総領事代理ヨリ「ク」州首相宛往簡写……………四一三
- 一三 大正二年十一月十日附「ク」州首相ヨリ在「シドニー」日本総領事宛来簡写……………四一五
- 一四 大正二年十一月十七日附在「シドニー」日本総領事代理ヨリ「ク」州首相宛往簡写……………四一六
- 一五 大正二年十二月三日附「ク」州首相ヨリ在「シドニー」日本総領事宛来簡写……………四一七
- 一六 大正二年十二月八日附在「シドニー」日本総領事代理ヨリ「ク」州首相宛往簡写……………四一七
- 一七 大正二年十二月二十三日附「ク」州首相代理ヨリ在「シドニー」日本総領事宛来簡写……………四一八
- 一八 二月二十五日附在「シドニー」日本総領事ヨリ「ク」州首相宛往簡写……………四一八
- 一九 三月十三日附「ク」州首相代理ヨリ在「シドニー」日本総領事宛来簡写……………四二〇
- 二〇 四月十六日附在「シドニー」日本総領事及「ク」州首相代理間会见覺書……………四二〇
- 二一 四月二十日附「ク」州首相代理ヨリ在「シドニー」日本総領事宛来簡写……………四二二
- 二二 四月二十三日附在「シドニー」日本総領事ヨリ「ク」州首相代理宛往電写……………四二二
- 二三 四月三十日附在「シドニー」日本総領事ヨリ「ク」州首相代理宛往電写……………四二三
- 二四 四月三十日附「ク」州首相代理ヨリ在「シドニー」日本総領事宛返電写……………四二三
- 二五 四月二十八日附「ク」州首相代理ヨリ在「シドニー」日本総領事宛来簡写……………四二三
- 二六 五月一日附在「シドニー」日本総領事ヨリ「ク」州首相代理宛往簡写……………四二四

- 一四 三三四 五月 四 日 加藤外務大臣ヨリ在リマ森領事宛（電報）……………四九五
- 六 二二一 五月 五 日 加藤外務大臣ヨリ大隈總理大臣宛 日米仲裁裁判条約更新協約御批准奏請ノ件……………二七一

- 附屬書 右上奏案……………二七二
- 附記 法制局會議覚……………二七二

一九 五九三 五月五日 在墨西哥安達公使ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

墨西哥叛軍ノ財源治下ノ邦人ノ状況、
叛軍ノ財源等出雲艦長ヨリ海軍大臣
宛報告取次ノ件……………八七三

別電

同日安達公使発外務大臣宛電報第一四一号右海軍大
臣宛報告……………八七三

四 一七九 五月六日 在シアトル高橋領事ヨリ
加藤外務大臣宛

華州漁業法規定ト日本人トノ関係ニ
付同州漁業監督官意見発表ノ件……………二一三

一五 三七五 五月六日 在伊国林大使宛
加藤外務大臣ヨリ

伊国移民ノ「ブラジル」国渡航禁止
令取消運動ニ関スル件……………五五九

一九 五九四 五月六日 在墨西哥安達公使ヨリ
加藤外務大臣ヨリ

「メキシコ」北部居留邦人保護ノ為
メ伊藤書記生派遣ノ件……………八七五

六 二二二 五月七日 在米田珍田大使ヨリ
加藤外務大臣ヨリ

仲裁裁判条約更新協約ノ効力発生時
期並米国及諸外国間更新協約ノ状態
ニ関シ問合ノ件……………二七三

八 二六〇 五月七日 在本邦英国大使ヨリ
加藤外務大臣宛

「プリビロフ」群島ノ臘肭獸調査委
員会ヲ至急会合セシメタキ旨申出ノ
件……………三二一

一九 五九五 五月七日 在墨西哥安達公使ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

三井ガ墨西哥政府ニ売込ノ武器到着予
定問合ノ件……………八七五

六 二二三 五月八日 在米田珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

更新協約効力発生時期及各国ノ更新
条約批准状況ニ関シ回報ノ件……………二七三

一九 五九六 五月八日 在墨西哥安達公使ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

墨西哥 Puerto Mexico ノ在留邦人英
艦ニ避難等報告ノ件……………八七五

八 二六一 五月九日 在松井外務次官ヨリ
加藤外務大臣ヨリ

「プリビロフ」群島ノ臘肭獸調査委
員派遣ニ関シ至急意見回示方ノ件……………三二二

八 二六二 五月九日 在松井外務次官ヨリ
加藤外務大臣ヨリ

「プリビロフ」群島ノ臘肭獸調査委
員派遣ニ関シ意見回示ノ件……………三二二

一二 三〇三 五月九日 在オタワ矢田総領事ヨリ
加藤外務大臣宛

「カナダ」「オンテリオ」州議會ニ
提出ノ東洋人ノ白婦人使用禁止法案
ニ付同州当局者ト交渉ノ件……………三八〇

附屬書

「オンテリオ」州工場店舗法改正法案……………三八三

一七 四八八 五月九日 在松井外務次官ヨリ
山県朝鮮總督府政務總監宛

朝鮮總督暗殺陰謀事件ニ関スル件……………七二二

一九 五九七 五月九日 在墨西哥安達公使ヨリ
加藤外務大臣ヨリ

英艦避難ノ Puerto Mexico 在留邦
人ノ員数及現状電報方訓令ノ件……………八七五

一九 五九八 五月九日 在墨西哥安達公使ヨリ
加藤外務大臣ヨリ

三井ガ墨西哥政府ヘ売込ノ兵器ハ積出
見合ノ件……………八七六

六 二二四 五月十一日 在江木内閣書記官長ヨリ
松井外務次官宛

日米仲裁裁判条約更新協約御批准ニ
関シ枢密院本會議開會通知ノ件……………二七四

附記一

日米仲裁裁判条約ノ有効期間延長ニ関スル協約審査
報告（枢密院）……………二七四

二

枢密院ニ於ケル議事覚……………二七五

六 二二五 五月十一日 在加藤外務大臣ヨリ
大隈總理大臣宛

日米仲裁裁判条約更新協約御批准書
交換ノ御委任状奏請ノ件……………二七五

附屬書

右上奏案……………二七五

附記

御委任状英訳文……………二七六

一四 三三五 五月十一日 在リマ森領事ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

「タンボ、レアル」耕地競売取消ノ
件……………四九五

一九 五九九 五月十一日 在墨国安達公使ヨリ 英艦避難 Puerto Mexico ノ在留邦 八七六
加藤外務大臣宛(電報) 人数及其現状報告ノ件

八 二六三 五月十二日 在米國珍田大使ヨリ 「プリビロフ」群島ノ臘納獸調査委 三二三
加藤外務大臣宛(電報) 員派遣ニ日本政府賛同ノ件

一三 三一〇 五月十二日 在シドニー清水総領事ヨリ 「クインスランド」州ニ於テ糖業ニ 四二六
加藤外務大臣宛 従事スル有色人種排斥ニ関シ同州首 府ニ出張直接交渉ノ結果報告ノ件

附屬書一 五月七日在「シドニー」日本総領事及「ク」州首相 四三〇
代理問会見録写

二 五月八日在「シドニー」日本総領事及「ク」州首相 四三七
代理問会見録写

三 五月九日在「シドニー」日本総領事及「ク」州首相 四四六
代理問会見録写

一二 三〇四 五月十三日 在バンクーヴァー掘領事ヨリ 東洋人ヲ使傭セサル製材会社ヨリノ 三八四
加藤外務大臣宛 ミ木材購入「バンクーバー」市会 決議撤回ノ件

附屬書 「バンクーバー」市内ノ邦人使傭製材会社及使傭邦 三八六
人数

一五 三七六 五月十三日 加藤外務大臣ヨリ 「サンパウロ」州行本邦移民解約ニ 五六〇
在伯国畑公使宛(電報) 対スル善後措置ノ成行問合ノ件

一五 三七七 五月十四日 在伯国畑公使ヨリ 「サンパウロ」州行本邦移民取扱ニ 五六〇
加藤外務大臣宛(電報) 関シ両移民会社代理人ト青柳協定ノ件

一九 六〇〇 五月十四日 在墨国安達公使ヨリ 墨国叛軍ノ「ダンピコ」占領、南米 八七六
加藤外務大臣宛(電報) 三国ニ依ル米墨紛争居中調停會議ニ 対スル墨米ノ方針等報告ノ件

一一 二九九 五月十五日 在ニコラエウスク山口領事館 「ニコラエウスク」漁業区漁場労働 三七三
事務代理ヨリ 者登録ニ関スル告示訳報ノ件

附屬書 右告示訳文 三七四

六 二二六 五月十八日 大隈総理大臣ヨリ 日米仲裁裁判条約更新協約御批准ノ 二七七
加藤外務大臣宛 件御裁下アリタル件

九 二七九 五月十八日 加藤外務大臣ヨリ 奥洪国政府ニ於テ軍隊衛生勤務補助 三三一
陸海軍各大臣参謀総長及軍令 部長宛 ノ為四救恤協會指定ノ件

六 二二七 五月十九日 加藤外務大臣ヨリ 日米仲裁裁判条約更新協約公布方閣 二七七
大隈総理大臣宛 議請求ノ件

附屬書 右公布案 二七七

一四 三三六 五月二十日 坂田通商局長ヨリ 「ペルー」国「タンボ、レアル」行 四九五
伊沢警視總監宛 移民ト東洋移民会社トノ書面契約案 承認ノ件

附屬書一 書面契約案承認指令 四九六

二 移民及東洋移民会社間契約案 四九六

一九 六〇一 五月二十日 在米國珍田大使ヨリ 墨国叛軍進撃ノ状況、米墨紛争調停 五〇一
加藤外務大臣宛(電報) ノ「ナイアガラ」會議五月二十日開 会等報告ノ件

六 二二八 五月二十三日 松井外務次官ヨリ 日米仲裁裁判条約更新協約批准書交 二七七
江木内閣書記官長宛 換済通知ノ件

附記一 日米仲裁裁判条約更新協約批准書交換始末覚 二七八

二	右批准書交換ニ関スル外務省告示第五号	二七八
三	右批准書交換証書	二七九
六	二一九 五月二十三日 加藤外務大臣ヨリ 在米田珍田大使宛(電報)	二八〇
一八	五〇五 五月二十三日 在露国本野大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	七六四
附記	加藤外務大臣及露国大使間会谈要領	七六四
一九	六〇二 五月二十四日 在墨国安達公使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	八七八
別電	五月二十四日安達公使発加藤外務大臣宛電報第一五九号 墨国政府向ケ武器積込ノ風説アル静洋丸ニ関シ米国政府ニ説明方珍田大使ニ依頼ノ件	八七九
四	一八〇 五月二十五日 在ポートランド井田領事ヨリ 加藤外務大臣宛	二二四
附屬書一	「アイダホ」州ノ右規定	二二五
二	「ワイオミング」州ノ右規定	二二八
附記一	在伯国青柳伯刺西爾拓植株式会社取締役通信第一号及第一二号写	五六六
一五	三七八 五月二十五日 在伯国烟公使ヨリ 加藤外務大臣宛	
一九	六〇三 五月二十五日 在米田珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	八七九
一八	五〇六 五月二十六日 在露国本野大使ヨリ 加藤外務大臣宛	七六七
附屬書	右演説和訳文	七六八
一四	三二三 五月二十九日 坂田通商局長ヨリ 伊沢警視總監宛	四七七
一九	六〇四 五月二十九日 在墨国安達公使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	八八〇
八	二六四 五月三十日 在米田珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	三二三
一九	六〇五 五月三十日 在イギリス馬場書記生ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	八八〇
一九	六〇六 五月三十一日 在墨国安達公使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	八八一

六 月

八 二六五 六月一日 松井外務次官ヨリ
上山農商務次官宛
「プリビロフ」群島ノ臘肭獸調査ノ
為日米加委員派遣方ヲ米國政府ヘ提
議シタル旨通牒ノ件……………三二三

一五 三七九 六月一日 川田東洋移民合資会社社長ヨリ
坂田通商局長宛
「サンパウロ」州呼寄移民ニ関シ東
洋移民会社伯國出張所ヨリノ報告提
出ノ件……………五六九

附屬書

東洋移民合資会社伯國出張所ヨリ本社宛書信等(一)……………五七〇

一九 六〇七 六月一日 在米國珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)
「カランサ」五月三十一日墨國仮大
統領タルコトヲ宣言ノ件……………八八一

八 二六六 六月二日 在米國珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)
「プリビロフ」群島ノ臘肭獸調査ノ
結果ハ各國委員別々ニ本國ニ報告提
出ノコトニ改メタル件……………三三四

一七 四八九 六月二日 加藤外務大臣ヨリ
在英、米各國大使、在紐育總
領事、在桑港總領事代理宛
朝鮮總督暗殺陰謀犯人伊致昊特赦ニ
依リ刑期短縮ノ件……………七二二

附記

九月二十八日加藤外務大臣ト在本邦米國大使トノ會
談要領……………七二二

一九 六〇八 六月二日 在墨國安達公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)
墨國「コアウイラ」方面ノ邦人困窮
者ノ兵士志願説諭方並從軍邦人ノ逃
亡等ニ関シ馬場書記生ヘ指示ノ件……………八八二

八 二六七 六月三日 松井外務次官ヨリ
上山農商務次官宛
「プリビロフ」群島ノ臘肭獸ノ状況
調査ノ為日米委員派遣ニ関スル珍田
大使來電ニ付意見問合ノ件……………三三四

一三 三二一 六月三日 在シンドニー清水總領事ヨリ
加藤外務大臣宛
濠洲ノ対日感情ニ関スル件……………四五一

一九 六〇九 六月三日 在米國珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)
「ナイアガラ」會議ニ於テ墨國委員
ヨリ「ウエルタ」大統領ノ辭意ニ付
公表ノ件……………八八二

八 二六八 六月四日 在米國珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)
「プリビロフ」群島ノ臘肭獸調査ノ
為同島ヘ赴ク船便並加奈陀政府ノ態
度未定ニ関スル件……………三三四

一八 五〇七 六月四日 在中國松平臨時代理公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)
蒙古政府ヨリ在中國英仏米独各公使
館ニ対シ通商條約締結ノ希望申出ノ
件……………七七六

八 二六九 六月五日 松井外務次官ヨリ
上山農商務次官宛
「プリビロフ」群島ノ臘肭獸調査ノ
為同島ニ赴ク船便等ニ関スル珍田大
使來電ニ付意見問合ノ件……………三三五

一九 六一〇 六月五日 在墨國田辺公使館書記官ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)
出雲艦長ト協議ノ為「マンサニヨ」
ニ出張ノ安達公使叛軍鐵道破壞ニ依
リ帰京困難トナリタル件……………八八三

八 二七〇 六月六日 上山農商務次官ヨリ
松井外務次官宛
「プリビロフ」群島臘肭獸調査ノ本
邦委員「シヤトル」著ノ日取ニ関ス
ル件……………三二六

七 二二二 六月八日 在英國井上大使ヨリ
加藤外務大臣宛
英米間國際平和委員會設置條約案ニ
関シ英國外相談話ノ件……………二八九

八 二七一 六月八日 上山農商務次官ヨリ
松井外務次官宛
「プリビロフ」群島ノ臘肭獸調査委
員派遣ニ関スル加奈陀政府ノ意向確
メ方依頼ノ件……………三二六

一 四四 六月九日 閣議決定
日米協約締結交渉打切並土地問題ニ
関スル往復文書ノ公表ニ関シ珍田大
使宛訓令ノ件……………五三

一 四五 六月九日 加藤外務大臣ヨリ
在米田珍田大使宛(電報) 日米協約締結交渉打切並土地問題ニ
関スル往復文書ノ公表ニ関シ訓令ノ 五四

別電 同日加藤外務大臣発珍田大使宛電報第一四六号右訓
令英文 五五

附記 加州土地法ニ関スル我抗議及米田政府弁明ノ要領 五六

一一 三〇〇 六月九日 在浦潮野村総領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛 露国国立銀行浦潮支店ノ漁業資金貸
出拡張ニ関スル件 三七六

一三 三二三 六月九日 在シドニー清水総領事ヨリ
加藤外務大臣宛 「クインズランド」州ニ於テ糖業ニ
従事スル有色人種排斥ニ関シ同州政
府ト交渉シテ其ノ態度ヲ改メシメタ
ル件 四五四

附屬書一 五月十五日附「ク」州首相代理ヨリ在「シドニー」 四五五
日本総領事宛來電写

二 五月十六日附濠州連邦外務次官ヨリ在「シドニー」 四五五
日本総領事宛來電写

三 五月十九日附「ク」州首相代理ヨリ在「シドニー」 四五六
日本総領事宛來電写

四 五月二十六日附「ク」州首相代理ヨリ在「シドニー」 四五六
日本総領事宛來電写

一九 六一一 六月九日 在墨田田辺公使館書記官ヨリ
加藤外務大臣宛(電報) 叛軍鐵道破壊ニ依リ帰京困難トナレ
ル安達公使ノ出迎ノ為特別車及自動
車差立方墨田外務大臣ニ依頼ノ件 八八三

一 四六 六月十日 在米田珍田大使ヨリ
在米田珍田大使宛 日米協約締結交渉ノ打切及關係文書
ノ公表問題ニ関スル電訓補足ノ件 五九

一五 三八〇 六月十日 在リオデジャネイロ松村総領
事ヨリ 在伯日本移民「アルゼンティン」へ
移住ノ件 五七二
加藤外務大臣宛

一五 三八一 六月十日 在伯田畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛 東洋及竹村取扱ノ本邦移民「サント
ス」港上陸及耕地配置ノ状況報告ノ 五七四
件

附屬書 野田通訳官ノ視察報告書 五七四

一八 五〇八 六月十日 加藤外務大臣ヨリ
在中国小幡臨時代理公使宛 蒙古政府ヨリ在中國英仏米獨公使館
ヘ照会ノ内容取調方訓令ノ件 七七七

一 四七 六月十一日 在米田珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報) 日米協約締結交渉打切並關係文書ノ
公表ニ関スル訓電写國務長官ニ手交 六一
済ノ件

一 四八 六月十一日 在米田珍田大使宛
加藤外務大臣宛(電報) 日米交渉打切ニ付新代表者任命方稟
請ノ件 六二

七 二二三 六月十一日 在英國井上大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報) 米田政府提議ノ平和委員會設置案約
案ニ関シ英米間ニ交渉ノ件 二九一

七 二二四 六月十一日 在英國井上大使ヨリ
加藤外務大臣宛 英米間國際平和委員會設置案約案ニ
関シ報告ノ件 二九一

一八 五〇九 六月十一日 加藤外務大臣ヨリ
在英國井上、在仏田石井、在
獨田杉村、在米田珍田大使宛 蒙古政府ヨリ在支英仏米公使館ヘ送
付ノ書翰ノ内容及之ニ對スル任國政
府ノ措置振聞糾シ方訓令ノ件 七七七

一八 五一〇 六月十一日 在露田本野大使ヨリ
加藤外務大臣宛 露国ニ輸入セラルル蒙古生產品ニ對
スル露国關稅廢止ノ件 七七八

一 四九 六月十二日 在米田珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報) 協約案ニ関スル發表並新代表者任命
方稟請ニ付回訓ノ件 六二

八	二七二	六月十二日	在米田大臣宛(電報)	在米田大臣宛(電報)	況ヲ知ルニ適當ナル時期ニ関スル件	……三二六
二〇	六五一	六月十二日	在米田大臣宛(電報)	在米田大臣宛(電報)	独帝ノ皇儲殿下訪問ニ関シ報告ノ件	……九一六
八	二七四	六月十三日	在米田大臣宛(電報)	在米田大臣宛(電報)	「プリビロフ」群島ノ臘舘獸調査ノ為北原農務技師派遣ニ付「シアトル」ヨリ同島迄ノ船便手配方依頼ノ件	……三二七
八	二七五	六月十三日	在米田大臣宛(電報)	在米田大臣宛(電報)	「プリビロフ」群島ノ臘舘獸調査ノ為北原農務技師七月二日「シアトル」到着ニ付爾後ノ船便手配方訓令ノ件	……三二七
一五	三八二	六月十三日	在米田大臣宛(電報)	在米田大臣宛(電報)	「サンパウロ」州行本邦移民取扱事業ヘノ森岡ノ割込策ニ関シ稟請ノ件	……五八九
一九	六一四	六月十四日	在米田大臣宛(電報)	在米田大臣宛(電報)	米墨紛争調停ノ「ナイアガラ」會議完了後軍艦出雲ノ帰還方及交代艦ノ派遣方稟請ノ件	……八八六
八	二七三	六月十五日	在米田大臣宛(電報)	在米田大臣宛(電報)	「プリビロフ」群島ノ臘舘獸繁殖状況ヲ知ルニ適當ナル時期ニ関スル件	……三二七
八	二七六	六月十五日	在米田大臣宛(電報)	在米田大臣宛(電報)	「プリビロフ」群島臘舘獸調査ノ北原農務技師ノ船便手配方ニ付	……三二八
一五	三八三	六月十五日	在米田大臣宛(電報)	在米田大臣宛(電報)	「サンパウロ」州行本邦移民取扱事業ニ関シ森岡ノ単独行動阻止及三社妥協方稟請ノ件	……五八九
一五	三八四	六月十六日	在米田大臣宛(電報)	在米田大臣宛(電報)	在伯国移民家族呼寄証明書ノ下付人名表ニ関スル件	……五九〇
一五	三八五	六月十六日	在米田大臣宛(電報)	在米田大臣宛(電報)	「サンパウロ」州行呼寄移民旅費補給資格ニ関スル件	……五九〇
二〇	六五二	六月十六日	在米田大臣宛(電報)	在米田大臣宛(電報)	「バクダッド」鉄道問題ニ関スル独英間ノ協商成立ノ件	……九一六
一	五〇	六月十七日	在米田大臣宛(電報)	在米田大臣宛(電報)	日米協約締結交渉打切ノ通告ニ関連シ米國新聞論調報告ノ件	……六二
一四	三二四	六月十七日	在米田大臣宛(電報)	在米田大臣宛(電報)	契約移民ノ同伴スル未成年児取扱ニ関スル件	……四七八
一四	三二五	六月十七日	在米田大臣宛(電報)	在米田大臣宛(電報)	森岡及東洋ノ兩移民会社取扱移民到着ニ付報告ノ件	……四七九
一五	三八六	六月十七日	在米田大臣宛(電報)	在米田大臣宛(電報)	青柳ノ運動ノ情況及森岡移民会社単独行動ニ付問合ノ件	……五九二
一四	三二六	六月十八日	在米田大臣宛(電報)	在米田大臣宛(電報)	「ペルー」北方四耕地行移民ノ書面契約案承認通知ニ関スル件	……四八〇
一九	六一五	六月十八日	在米田大臣宛(電報)	在米田大臣宛(電報)	軍艦出雲今暫ク滯墨ノコトニ海軍省トモ協議決定ノ件	……八八七
一八	五一	六月十九日	在米田大臣宛(電報)	在米田大臣宛(電報)	蒙古ニ関シ英國議會ニ於ケル質問及外務大臣答弁報告ノ件	……七七九
一五	三八七	六月二十日	在米田大臣宛(電報)	在米田大臣宛(電報)	東洋竹村兩社代理人及青柳ノ運動並森岡代理人ノ単独運動ニ付報告ノ件	……五九二
一九	六一六	六月二十日	在米田大臣宛(電報)	在米田大臣宛(電報)	墨國新大統領トシテ現大審院長推挙ノ提案及墨國內動乱ノ混沌タル狀況ニ付報告ノ件	……八八八

一 五一 六月二十二日 在米田珍田大使宛(電報) 加州問題ニ対スル米新聞論調報告ノ件……………六三

一八 五二二 六月二十二日 在紐育飯島總領事ヨリ 外蒙古ニ関スル「ロッキヒル」氏ノ論說梗概報告ノ件……………七八〇

一 五二 六月二十三日 在米田珍田大使宛 加州土地法問題ニ関スル在本邦米國大使トノ会谈要領送付ノ件……………六四

附屬書 右会谈要領……………六四

一五 三八八 六月二十三日 在伯國烟畑公使宛(電報) 東洋竹村兩移民会社ハ「サンパウロ」州政府ヨリ補助金支給運動ヲ断念シ自由移民渡航ヲ計画シ居ル件……………五九三

一 五三 六月二十四日 在米田珍田大使宛(電報) 日米協約締結交渉打切ノ通告ニ対シ國務長官回答ノ件……………六六

別電 同日珍田大使宛加藤外務大臣宛電報第一八八号右國務長官回答……………六七

附記

六月二十七日珍田大使宛加藤外務大臣宛電報第一九六号 右國務長官回答書翰ノ冒頭部分……………六九

二〇 六五三 六月二十四日 在独國杉村大使ヨリ 伯林発行ノ一新聞紙掲載ノ三国協商側某外交官ノ独國將來ノ外交政策ニ関スル談話報告ノ件……………九一七

一 五四 六月二十五日 在米田珍田大使宛(電報) 國務長官回答ノ不公表ニ付打合方訓令ノ件……………六九

一五 三八九 六月二十五日 在伯國烟畑公使ヨリ 渡航ハ州政府ノ意嚮ヲ確メタル後ノ事トシタキ件……………五九三

一九 六二七 六月二十五日 在米田珍田大使ヨリ 表及「ヴィヤ」軍ノ「ザカテカス」占領ノ件……………八八八

一 五五 六月二十六日 在米田珍田大使ヨリ 國務長官回答ノ公表問題ニ関シ打合ノ件……………

別電

同日珍田大使宛加藤外務大臣宛電報第一九〇号國務長官回答ノ公表延期ニ関スル發表案……………七〇

一 五六 六月二十六日 在米田珍田大使ヨリ 加州土地法問題ニ関スル米國政府公表ノ公文書ニ付報告ノ件……………七〇

一 五七 六月二十六日 在米田珍田大使ヨリ 日米兩國政府間往復文書ノ要領米國新聞掲載ノ件……………七一

一九 六一八 六月二十六日 在墨國安達公使ヨリ 「ナイアガラ」會議ニ於テ六月二十四日仮調印ノ議定書ヲ米國政府承認セルモ墨國政府ハ尚墨國委員ト交渉中ナル件……………八八九

一 五八 六月二十七日 在桑港沼野總領事代理宛 日本政府發表ノ日米間往復文書ニ付通報ノ件……………七一

附記 米國政府ノ發表シ日本政府ノ發表セザリシ文書ニ関スル新聞發表案……………七一

一 五九 六月二十七日 在米田珍田大使ヨリ 六月二十三日附國務長官ノ公表期日ニ付請訓ノ件……………七二

二 八五 六月二十七日 在桑港沼野總領事代理ヨリ 加州労働派ノ総選挙対策ニ鑑ミ来年ノ州会ニ於テ排日的法案提出必至ノ件……………一〇四

一	六〇	六月二十八日	在米田珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	加州問題関係文書ノ公表ニ対スル新 聞論調報告ノ件	七二
一	六一	六月二十九日	在米田珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	六月二十三日附國務長官回答ノ公表 ニ関シ回訓ノ件	七三
一	六二	六月二十九日	在米田珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	加州問題関係文書ノ公表ニ対スル新 聞論調報告ノ件	七四
五	一九五	六月二十九日	在米田珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	米田議院ニ提出セラレントスル亜細 亞人労働者排斥法案ニ付國務長官ヨ リ内示ノ件	二六〇
別電					二六一
同日珍田大使發加藤外務大臣宛電報第二〇一号					二六一
一	六三	六月三十日	在米田珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	六月二十三日附國務長官回答ノ公表 ニ関シ我方ノ都合問合ノ件	七四
一五	三九〇	六月三十日	在米田珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	「サンパウロ」州行本邦移民ニ関シ 森岡代理人ノ單獨運動差止方ノ件	五九三
一八	五二三	六月三十日	在中国小幡臨時代理公使ヨリ 加藤外務大臣宛	蒙古政府ヨリ通商条約締結ニ関シ在 中国英仏独米公使館ヘ照会ノ内容及 各國ノ之ニ対スル措置振報告ノ件	七八三

七月

一五	三九三	七月一日	在米田珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛	南米ニ於ケル排日熱防止ニ関シ意見 具申ノ件	五九四
----	-----	------	----------------------	--------------------------	-----

一八	五一四	七月一日	在米田珍田臨時代理大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	通商条約締結ヲ希望セル蒙古政府ノ 申入ニ対シ回答ヲ發セザル旨独逸外 務次官談話ノ件	七八五
一九	六一九	七月一日	在米田珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	米墨紛争調停ノ「ナイアガラ」會議 休会ヲ決定ノ件	八八九
一	六四	七月二日	在米田珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	六月二十三日附國務長官回答ノ公表 問題ニ関シ回訓ノ件	七五
一	六五	七月二日	在米田珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	六月二十三日附國務長官回答ノ公表 ハ他日ニ讓ルコトニ協議済ノ件	七五
一	六六	七月二日	在米田珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	東京日日新聞ハ加藤外相ノ所有ニ属 セザル旨國務長官ヘ説明ノ件	七五
五	一九六	七月二日	在米田珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	亜細亞人労働者排斥法案ニ関シ本邦 除外ヲ要望スル旨國務長官ヘ申入訓 令ノ件	二六二
一五	三九一	七月二日	在米田珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	森岡本社ヨリ代理人ニ單獨運動見合 方電報ノ件	五九四
一九	六二〇	七月二日	在米田珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	米墨委員七月一日「ナイアガラ」議 定書ニ正式調印、米軍「ヴェラクル ス」撤兵ノ了解等ニ関スル件	八九〇
一八	五一五	七月三日	在米田珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	蒙古政府ヨリ通商条約締結ニ関シ在 中国公使館ヘ照会ノ内容及仏國 政府ノ之ニ対スル措置報告ノ件	七八五
一五	三九二	七月四日	在米田珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	森岡ト東洋竹村兩社トノ妥協不成立 ノ場合ニ付上申ノ件	五九四
五	一九七	七月八日	在米田珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	亜細亞人労働者排斥法案ニ関シ本邦 除外ノ要望ヲ國務長官ヘ申入ノ件	二六二

一八 五一六 七月 八日 在独国篠野臨時代理大使ヨリ
加藤外務大臣宛

蒙古政府ヨリ通商条約締結ニ関シ在
中国独逸公使館へ照会ノ内容及之ニ……七八五
対スル独逸政府ノ措置報告ノ件

附屬書

蒙古政府ヨリ在中国独逸公使館書翰和訳文……七八六

一五 三九四 七月 九日 加藤外務大臣ヨリ
在伯国畑公使宛(電報)

「サンパウロ」州行本邦移民ニ関シ
同州農務大臣言明ノ真意及善後策電……五九八
報方ノ件

一九 六二一 七月 九日 在墨国安達公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

墨国外務大臣代理ヨリ米墨紛争ノ顛
末及「ナイアガラ」議定書作製ノ顛
末ヲ上下兩院ニ報告ノ件……八九〇

二 八六 七月 十日 在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛

明年提出予想ノ加州排日法案防止ニ
関シ牛島氏ヨリ申出アリタルニ付請……一〇四
訓ノ件

一五 三九五 七月 十日 在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

「サンパウロ」州行本邦移民ニ関ス
ル同州農務大臣ノ言明ニ付確メ中ナ……五九八
ル件

一五 三九六 七月 十三日 加藤外務大臣ヨリ
在伯国畑公使宛(電報)

「サンパウロ」州農務大臣ノ移民法ニ
関スル言動ニ付真相相回電方訓令ノ件……五九〇

六 二二〇 七月 十四日 加藤外務大臣ヨリ
在蘭国佐藤公使宛

日米仲裁裁判条約更新協約写国際事
務局へ送付方ノ件……二八〇

一五 三九七 七月 十四日 在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

自費移民計画ニ関シ東洋竹村兩社代
理人ハ青柳ヲ無視シ州農務大臣ト交……五九九
渉ノ件

一五 三九八 七月 十五日 在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

「サンパウロ」州農務大臣ノ排日的
態度ニ対スル善後策ニ付稟申ノ件……六〇一

一九 六二二 七月 十五日 在墨国安達公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

墨国仮大統領「ウエルタ」辞表提出……八九一
ノ件

一九 六二三 七月 十五日 在墨国安達公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

墨国仮大統領「ウエルタ」ノ辭職ハ
下院ノ承認ヲ受ケ「カルバハル」仮……八九一
大統領ニ就任ノ件

一五 三九九 七月 十六日 加藤外務大臣ヨリ
在伯国畑公使宛(電報)

「サンパウロ」州ニ於ケル排日的移
民法案提出阻止方訓令ノ件……六〇二

一八 五一七 七月 十六日 在米国珍田全權大使ヨリ
加藤外務大臣宛

蒙古政府ヨリ通商条約締結方在中国
米国公使へ照会ノ内容及米国政府ノ……七八七
之ニ対スル措置報告ノ件

一九 六二四 七月 十六日 在米国珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

米国ハ墨国「カルバハル」仮政府ヲ
承認シ得ザル旨國務長官談話ノ件……八九一

一九 六二五 七月 十六日 在墨国安達公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

新仮大統領「カルバハル」外交団接
見ノ際ノ祝辭等ニ関スル件……八九二

五 一九八 七月 十七日 在米国珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

亜細亞人排斥法案中ニ日支土ノ三国
除外ノ規定挿入案ヲ國務長官ヨリ申……二六三
越ニ付請訓ノ件

一九 六二六 七月 十七日 在墨国安達公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

墨国仮大統領外交団接見ノ件……八九二

二 八七 七月 十八日 在ポートランド井田領事ヨリ
加藤外務大臣宛

太平洋沿岸日本人協議会設立及其決
議ニ関シ報告ノ件……一〇六

五 一九九 七月 十八日 加藤外務大臣ヨリ
在米国珍田大使宛(電報)

亜細亞人排斥法案中ニ除外規定挿入
ニ関シ回訓ノ件……二六三

一五 四〇〇 七月 十八日 在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

収容所及鉄道等ノ特典ノ享受ハ契約
ノ結果ナル件……六〇二

一八 五一八 七月 二十一日 在英國井上大使ヨリ
加藤外務大臣宛

蒙古政府ヨリ通商条約締結ニ関シ在
中国英國公使館へ照会ノ内容及英國……七八八
ノ之ニ対スル措置ニ付英外務省へ問
合ノ件

七 二二五 七月二十三日

在米國珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛

米英間及米仏間ニ協議済ノ國際爭議
處理条約文國務長官ヨリ内示ノ件……………二九三

附屬書一 右米英間國際爭議處理条約文……………二九三

二 右米仏間同右条約文……………二九六

一三 三二三 七月二十四日

在シドニー清水總領事ヨリ
加藤外務大臣宛

「クインスランド」州ニ於テ糖業ニ
従事スル有色人種排斥ニ關スル件……………四五六

一五 四〇一 七月二十五日

在伯國畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛

「サンパウロ」州政府本邦移民ニ対
スル態度變遷ニ關シ詳報ノ件……………六〇二

附屬書一

竹村東洋兩代理人ヨリ「サンパウロ」州農務長官宛
質問書訳文……………六〇九

二 右質問書ニ対シ「サンパウロ」州農務次官回答書訳
文……………六一〇

三 竹村東洋兩代理人「サンパウロ」州農務長官七月十
日会谈ノ要領……………六一一

一九 六二七 七月二十五日

在墨國安達公使ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

新坂大統領「カルバハル」ノ仮政府
ハ時局收拾ニ付「カランサ」派及「サ
パタ」派ト協議ノ意向ノ件……………八九二

一五 四〇二 七月二十七日

加藤外務大臣ヨリ
在伯國畑公使宛（電報）

「サンパウロ」州排日の移民法案提
出阻止ノ為同州統領及政治家ト会谈
ノ結果電報方訓令ノ件……………六二二

一五 四〇三 七月二十七日

伊沢警視總監ヨリ
加藤外務大臣宛

「サンパウロ」州行本邦移民供給契
約解除報告ノ件……………六二二

附屬書

川田東洋移民会社社長ヨリ伊沢警視總監宛届書……………六二二

一五 四〇四 七月二十八日

在伯國畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

「サンパウロ」州行本邦移民問題ニ
關シ同州統領及政治家ト会谈ノ結果
報告ノ件……………六二三

五 二〇〇 七月三十一日

在本邦米國大使ヨリ
加藤外務大臣宛

米國ニ入国セントスル外人ノ米國
移民官ニ対スル虚偽ノ証言ニ關スル
米國政府ノ訓令寫送付ノ件……………二六三

附屬書

右訓令寫……………

一五 四〇五 七月三十一日

加藤外務大臣ヨリ
在伯國畑公使宛（電報）

「サンパウロ」行本邦移民問題ニ關
シ「グリセリオ」氏ノ尽力ニ対スル
評價問合ノ件……………六二四

八月

一五 四〇六 八月一日

在伯國畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

「サンパウロ」州ハ排日の移民法案
提出ノ模様ナキ件……………六二四

一五 四〇七 八月一日

在伯國畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

伯國行本邦移民ニ關シ竹村東洋兩社
代理人ヨリ「グリセリオ」氏等へ報
酬支出方ノ件……………六二四

一五 四〇八 八月一日

在伯國畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛

「サンパウロ」州行本邦移民問題ニ
關シ同州統領及政治家ト会谈ノ結果
具報ノ件……………六二五

附屬書一

畑公使ヨリ連邦上院議員「インディオ、ド、ブラジ
ル」ニ手交ノ覚書訳文……………六二〇

二 千九百九年十一月伯國外務大臣「リオ、ブランコ」
ヨリ内田公使宛書束ノ一節訳文……………六二一

三 畑公使ヨリ連邦「グリセリオ」上院議員ニ手交ノ覚
書訳文……………六二二

四 内田公使ヨリ「リオ、ブランコ」伯国外務大臣宛書……………六二一
東訳文

五 伯国外務大臣「リオ、ブランコ」ヨリ内田公使宛返……………六二三
東訳文

一五 四〇九 八月一日 在伯国畑公使ヨリ 加藤外務大臣宛（電報） 東洋竹村両社合同並森岡トノ妥協電 報方ノ件……………六二四

一五 四一〇 八月三日 在伯国畑公使宛（電報） 東洋竹村両社合同並森岡トノ妥協不 進捗ノ件……………六二四

一九 六二八 八月四日 在墨国安達公使ヨリ 軍艦出雲ノ引揚内定通報ノ件……………八九三

一九 六二九 八月七日 在墨国安達公使ヨリ 墨国「カルバハル」ノ仮政府及「カ ランサ」ノ代表者間ノ交渉決裂ノ件……………八九三

五 二〇一 八月八日 在伯国外務大臣ヨリ 米国ニ入国セントスル外国移民官ニ 對スル虚偽ノ証言ニ関スル米国政府 ノ訓令享受領ノ件……………二六五

二 八八 八月十日 在桑港沼野總領事代理宛 一九一五年加州州会ニ於ケル排日の 立法防止運動ニ関スル牛島氏申出ニ 付回訓ノ件……………一〇七

一一 八九 八月十日 在米国外務大臣ヨリ 次期加州州会排日の立法防止運動ニ 関スル件……………一〇八

附記 九月二日附在米国三浦大使館参事官ヨリ坂田通商局……………一〇八
長宛私信

一五 四二一 八月十日 在伯国畑公使ヨリ 「サンパウロ」州政府ノ一部ニ排日 的態度アルモ同州一般ハ排日のニ非 ザル旨具報ノ件……………六二五

一五 四二二 八月十日 在伯国畑公使ヨリ 「グリセリオ」氏トノ会谈ノ結果電 報方ノ件……………六二八

九 二八〇 八月十一日 在本邦瑞西国公使ヨリ 英国政府ニ於テ一九〇六年調印ノ赤 十字条約ニ附シタル留保ヲ撤回シタ ル旨通知ノ件……………三三一

附屬書 右留保ヲ撤回シタル英国宣言ノ認証謄本……………三三二

一五 四二三 八月十一日 在伯国畑公使ヨリ 「グリセリオ」氏トノ会谈ノ結果回 電ノ件……………六二八

一九 六三〇 八月十二日 在墨国安達公使ヨリ 墨国革命軍ニ依ル我在「マンサニヨ」 名譽領事逮捕ノ件……………八九三

別電 同日安達公使宛 加藤外務大臣宛電報第二二一號 在「マンサニヨ」日本国名誉領事ノ保護方ニ関シ珍……………八九四
田大使ニ依頼ノ件

一五 四一四 八月十三日 在伯国外務大臣ヨリ 移民会社側ニ於テ「グ」氏報酬支出 困難並松村書記官「サンパウロ」出……………六二九
張等ノ件

一九 六三一 八月十三日 在墨国安達公使ヨリ 各国公使館ニ憲兵配置「カルバハル」 仮大統領首府退去「カランサ」入……………八九四
京ノ形勢等報告ノ件

一〇 二九三 八月十四日 山県朝鮮總督府政務總監ヨリ 咸鏡北道土里對岸露領ニ於ケル関稅 取締狀況報告ノ件……………三五七

九 二八一 八月十五日 加藤外務大臣ヨリ 赤十字条約ニ對スル英国政府ノ留保 撤回ニ関シ通知ノ件……………三三三

九 二八二 八月十五日 加藤外務大臣ヨリ 赤十字条約ニ對スル英国政府ノ留保 撤回ニ関スル通知ニ對シ回答ノ件……………三三三

附録 日本外交文書 大正三年 第一冊 日附索引……………五九

九 二八三 八月十五日 八代海軍岡陸軍大臣ヨリ
加藤外務大臣宛

赤十字条約第十条ニ依リ篤志救恤協
会ノ名称ヲ締約国ニ通告方依頼ノ件
……………三三四

一五 四一五 八月十六日 在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

「サンパウロ」州行本邦移民問題及
館員「サンパウロ」出張ニ付意見回
示ノ件……………六二九

一九 六三二 八月十六日 在桑港沼野総領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

墨国ニ派遣ノ軍艦出雲帰国途上ノ件……………八九五

一八 五一九 八月十七日 加藤外務大臣ヨリ
在中国小幡臨時代理公使宛

蒙古政府ヨリ通商条約締結方照会ニ
対スル独仏米各政府ノ措置通報ノ件
……………七八九

七 二二六 八月二十日 在本邦米国大使ヨリ
加藤外務大臣宛

米国ト各国トノ国際紛争審査条約商
議ノ進捗情況ヲ示ス國務長官ノ陳述
書送付ノ件……………二九九

一五 四一六 八月二十三日 加藤外務大臣ヨリ
在伯国畑公使宛（電報）

「サンパウロ」領事館新設迄松村書
記官同地出張方ノ件……………六三〇

一五 四一七 八月二十三日 在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛

「サンパウロ」州行本邦移民問題ニ
関シ「グリセリオ」氏ノ運動有利ナ
ル旨詳細回報ノ件……………六三〇

附屬書 畑公使ヨリ聯邦上院議員「グリセリオ」ニ手交覚書
訳文……………六三四

一九 六三三 八月二十三日 在墨国安達公使ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

「カランサ」墨都ニ入京、其外交関
係ノ措置振、
「マンサニヨ」日本国
名譽領事ニ対スル国外退去命令等報
告ノ件……………八九五

九 二八四 八月二十四日 加藤外務大臣ヨリ
在欧米各大公使宛

赤十字条約第十条ニ依リ篤志救恤協
会ノ名称任国政府へ通告方ニ関スル
……………三三四

七 二二七 八月二十五日 加藤外務大臣ヨリ
在本邦米国大使宛

米国ト各国トノ国際紛争審査条約商
議ノ進捗情況通報ニ対シ回答ノ件
……………三〇〇

二 九〇 八月二十六日 加藤外務大臣ヨリ
在米国珍田大使宛

次期加州州会ニ排日法案提出必至ニ
関連シ桑港博覧会参同取消ノ可否ニ
付意見問合ノ件……………一一〇

一五 四一八 八月二十七日 在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

「サンパウロ」州行本邦移民問題ニ
関シ「グリセリオ」氏ノ回答要旨報
告ノ件……………六三六

一八 五二〇 八月二十七日 加藤外務大臣ヨリ
在中国日置公使宛

蒙古政府ヨリ通商条約締結方照会ニ
対スル英國政府ノ措置ニ付通報ノ件
……………七八九

二 九一 八月二十八日 在桑港沼野総領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

桑港博覧会参同ノ取消ヲ不可トスル
意見回申ノ件……………一一一

一五 四一九 八月三十日 在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛

「サンパウロ」州政府委託ニ依ル「ラ
ムブレイア」ノ加州日本人情況調査
ニ付内探ノ件……………六三六

九月

二 九二 九月二日 在米国珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

桑港博覧会参同取消ヲ可トスル意見
答申ノ件……………一一三

一五 四二〇 九月二日 加藤外務大臣ヨリ
在伯国畑公使宛

「サンパウロ」州政府委託「ラムプ
レイア」加州日本人狀態調査復命書
入手方ノ件……………六三七

一五	四二一	九月二日	加藤外務大臣ヨリ 在米田珍田大使及在桑港沼野 総領事代理宛	「サンパウロ」州政府委託「ラムプ レイア」加州日本人状態調査ニ関スル件	六三七
一五	四二二	九月二日	加藤外務大臣ヨリ 在伯国畑公使宛(電報)	「サンパウロ」州出張中ノ松村領事 ニ対スル訓令伝達方ノ件	六三七
一五	四二三	九月三日	在伯国畑公使ヨリ 加藤外務大臣宛	松村書記官「サンパウロ」出張中ノ 職務範囲ニ関スル件	六三八
二	九三	九月五日	在桑港沼野総領事代理ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	加州ニ於ケル排日氣勢若干緩和ノ件	一一四
一八	五二一	九月五日	在中国日置公使ヨリ 加藤外務大臣宛	露華蒙間ノ恰克図會議參列ノ為中国 政府代表者出立ニ関スル件	七九〇
七	二二八	九月十二日	加藤外務大臣ヨリ 在英國井上大使宛(電報)	英米間國際平和委員會設置條約ニ関 スル交渉ノ現状報告方並右條約ト日 英同盟協約トノ關係ニ関スル英國政 府ノ見解問合方訓令ノ件	三〇一
七	二二九	九月十二日	加藤外務大臣ヨリ 在米田珍田大使宛(電報)	國際平和委員會設置條約締結問題ニ 関シ意見提示方ノ件	三〇一
附記一					
大正二年五月十七日珍田大使發牧野外務大臣宛電報					三〇二
國務長官ノ平和維持案ニ関シ英伊兩國政府ハ主義上 ノ同意ヲ表シタル件					三〇二
大正二年五月十八日珍田大使發牧野外務大臣宛電報					三〇二
國務長官ノ平和維持案ニ関シ日本政府ノ見解ヲ尋ネ ラレタルニ付請訓ノ件					三〇二
大正二年五月二十六日牧野外務大臣發珍田大使宛電 報第一三一號					三〇三
國務長官ノ平和維持案ニ関シ日本政府ガ当分回答シ 難キ事情篤ト説明方回訓ノ件					三〇三
英米間國際平和委員會設置條約ニ関 シ英國ハ調印スベキ旨並日英同盟協 約トノ關係ニ付英國外相談話ノ件					三〇三
國際平和委員會設置條約締結ハ其時 機ニ非ザル旨回申ノ件					三〇四
國際爭議處理條約ハ米國ト英仏西中 ノ四國トノ間ニ調印済ノ件					三〇五
七	二二〇	九月十四日	在英國井上大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	「サンパウロ」州行本邦移民問題ニ 関シ松村書記官「ルビオン」氏ト会 見ノ件	六三九
七	二二一	九月十五日	在米田珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	「サンパウロ」州行本邦移民問題ニ 関シ松村書記官「ルビオン」氏ト会 見ノ件	六三九
七	二二二	九月十六日	在米田珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	「サンパウロ」州行本邦移民問題ニ 関シ松村書記官「ルビオン」氏ト会 見ノ件	六三九
一五	四二四	九月十六日	在伯国公使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	「サンパウロ」州行本邦移民問題ニ 関シ松村書記官「ルビオン」氏ト会 見ノ件	六三九
一五	四二五	九月十七日	在伯国畑公使ヨリ 加藤外務大臣宛	「サンパウロ」州行本邦移民問題ニ 関シ松村書記官「ルビオン」氏ト会 見ノ件	六三九
附屬書 畑公使ヨリ「グリセリオ」氏ニ手交シタル覺書訳文					六四一
二	九四	九月二十日	在桑港沼野總領事代理ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	加州民主黨政綱ハ亜細亞人反對政策 堅持ノ件	一一六
二	九五	九月二十日	在桑港沼野總領事代理ヨリ 加藤外務大臣(電報)	加州労働党ノ日本人排斥運動ニ関ス ル件	一一六
二	九六	九月二十一日	在桑港沼野總領事代理ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	加州知事候補者予選ノ最終の結果報 告ノ件	一一六
一五	四二六	九月二十二日	在伯国畑公使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	「サンパウロ」州政府ハ本邦移民ヲ 歐洲移民ト同様ニ待遇スベキ旨言明 ノ件	六四二
一五	四二七	九月二十四日	在伯国畑公使ヨリ 加藤外務大臣宛	歐洲戰乱ノ在伯国本邦移民ニ及ホス 影響ニ関スル件	六四二

七 二三三 九月二十五日

在英國井上大使ヨリ
加藤外務大臣宛

英米間國際平和委員會設置條約ト日
英同盟協約トノ關係ニ関シ英國政府
覺書送付越ノ件……………三〇五

附屬書 右英國政府覺書……………三〇六

一五 四二八 九月二十五日

在伯國畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛

「サンパウロ」州行自由移民ニ対ス
ル旅費還付中止ノ件……………六四五

附屬書 「サンパウロ」州令第二五三三號訳文……………六四五

一九 六三四 九月二十六日

在墨國安達公使ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

「ヴィヤ」軍、「サパタ」党等ノ
「カランサ」政府ニ対スル反對ニ依
リ墨國政情混沌ノ狀勢報告ノ件……………八九六

一九 六三五 九月二十六日

在墨國安達公使ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

墨國ニ於テ「カランサ」「ヴィヤ」
間ノ交渉不調ニ終リ戰鬪避ケ難キ狀
勢ノ件……………八九六

一五 四二九 九月三十日

在伯國畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

本邦移民ノ待遇ニ付「サンパウロ」
州政府言明ノ文書化ニ関スル件……………六四六

一九 六三六 九月三十日

在墨國安達公使ヨリ
加藤外務大臣宛

墨國新政府外務大臣代理ヨリ日本政
府ニ依ル新政府ノ率先承認ヲ要請ノ
件……………八九六

十 月

一五 四三〇 十月一日

サンパウロ出張松村總領事ヨ
リ
加藤外務大臣宛

「サンパウロ」州在住本邦移民ヨリ
ノ呼寄証明發給ニ関シ請訓ノ件……………六四六

二 九七 十月二日

加藤外務大臣ヨリ
在桑港沼野總領事代理宛（電
報）

加州排日立法防止運動資金ニ関シ問合
ノ件……………一一六

二 九八 十月二日

在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

加州排日立法防止運動資金ニ関シ回
答ノ件……………一一七

二 九九 十月二日

在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

加州排日法案ニ関シ国会及州會議員
候補者ニ対シ為サレタル「アンケー
ト」ノ結果報告ノ件……………一一七

三 一六五 十月二日

松井愛知県知事ヨリ
坂田外務省通商局長宛

故横井秀吉ノ加州ニ於ケル遺産処分
ニ関シ調査方依頼ノ件……………一七三

七 二三四 十月二日

在米國珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

米露間國際爭議處理條約調印ノ件……………三〇八

七 二三五 十月三日

加藤外務大臣ヨリ
在米國珍田大使宛（電報）

日米間國際平和委員會設置條約締結
問題ニ関シ意見提示方再訓令ノ件……………三〇八

一五 四三一 十月三日

在伯國畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛

本邦移民ノ待遇ニ関シ文書交換方
「サンパウロ」州政府トノ交渉經過……………六四七

附記

十月五日附畑公使ヨリ加藤外務大臣宛私信……………六五一

二 一〇〇 十月五日

在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛

加州ニ於ケル国会及州會議員候補者
ニ対シ排日問題ニ付行ハレタル「ア
ンケート」ノ結果及觀測報告ノ件……………一一八

附屬書一

米國國會議員候補者宛設問書……………一二三

二

加州州會議員候補者宛設問書……………一二四

九 二八五 十月五日

加藤外務大臣ヨリ
陸海軍各大臣參謀總長及海軍
軍令部長宛

諾國軍隊衛生勤務補助協會名稱通知
ノ件……………三三五

一四	三三七	十月七日	在リマ森領事ヨリ 加藤外務大臣宛（電報）	東洋移民会社ノ「サンホセ」耕地行 移民契約証認ノ件……………五〇七
二	一〇一	十月八日	在桑港沼野総領事代理ヨリ 加藤外務大臣宛	加州政界ノ情況ト排日氣勢ニ関スル 件……………一二五
一一	三〇一	十月八日	在蒲潮野村総領事代理ヨリ 加藤外務大臣宛	露国漁業者ニ対スル国立銀行貸出方 法ニ関スル件……………三七七
三	一六六	十月九日	加藤外務大臣ヨリ 在桑港沼野総領事代理宛	故横井秀吉ノ加州ニ於ケル遺産処分 ニ関シ調査方訓令ノ件……………一七四
七	二三六	十月九日	在米田珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛（電報）	米田珍田各國トノ国際紛争処理条約文 ノ入手ニ関シ問合ノ件……………三〇九
二	一〇二	十月十日	在桑港沼野総領事代理ヨリ 加藤外務大臣宛	加州下院議員候補者「クリッピンス」 ヘノ援助供与ニ関スル件……………一二八
一四	三三八	十月十日	川田東洋移民合資会社社長ヨ リ 加藤外務大臣宛	「ペルー」国「サンホセ」及「スウ テ」耕地行移民更ニ百名供給ニ付東 洋移民会社及移民間書面契約訂正承 認願出ノ件……………五〇七
七	二三七	十月十一日	在英國井上大使ヨリ 加藤外務大臣宛（電報）	英米間国際平和委員会設置条約ト米 蘭条約トノ相異点報告ノ件……………三〇九
七	二三八	十月十二日	加藤外務大臣ヨリ 在米田珍田大使宛（電報）	国際紛争処理条約文ノ入手ニ関シ回 答ノ件……………三一〇
七	二三九	十月十二日	在米田珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛（電報）	日米間国際平和委員会設置条約締結 問題ニ関シ消極的意見答申ノ件……………三一〇
一	七八	十月十三日	在米田珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛（電報）	米田珍田排日行動予防ノ為ノ新協約締 結ニ関シ意見稟申ノ件……………九九

一一	三〇五	十月十三日	在オタワ矢田総領事ヨリ 加藤外務大臣宛	英領「コロンビア」州官有林伐採ニ 日本人使用禁止問題ニ付在「バンク ーバー」領事ラシテ州当局ニ交渉セ シム様稟申ノ件……………三八六
一	七九	十月十四日	加藤外務大臣ヨリ 在米田珍田大使宛（電報）	米田珍田排日行動予防ノ為ノ新協約案 ノ大要提示アリタキ件……………一〇〇
七	二四〇	十月十四日	在米田珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛（電報）	米田珍田「エクアドル」及「ギリシャ」 トノ平和条約調印ノ件……………三一一
一四	三三九	十月十四日	伊沢警視總監ヨリ 坂田通商局長宛	「ペルー」国「サンホセ」及「スウ テ」耕地行移民用ノ東洋移民会社印 刷物認可願ニ付協議ノ件……………五〇八

附屬書一 東洋移民会社社長ヨリ警視總監宛……………五〇八
右認可願……………五〇八

二 右印刷文……………五〇八

二	一〇三	十月十五日	在桑港沼野総領事代理ヨリ 加藤外務大臣宛（電報）	加州排日法案ニ関スル同州州會議員 当選者ノ意見追報ノ件……………一三〇
二	一〇四	十月十五日	在桑港沼野総領事代理ヨリ 加藤外務大臣宛（電報）	加州排日法案防止ニ関シ桑港有力者 ニ於テ大統領ニ請願ノ為代表者選定 ノ件……………一三〇
一八	五二二	十月十五日	加藤外務大臣ヨリ 在中國日置公使宛	外蒙古ニ関スル恰克圖會議ノ成行探 査方訓令ノ件……………七九〇
一	八〇	十月十六日	在米田珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛（電報）	米田珍田排日行動予防ノ為ノ新協約案 ノ大要ニ付回報ノ件……………一〇〇
一四	三四〇	十月十六日	坂田通商局長ヨリ 伊沢警視總監宛	「ペルー」国「サンホセ」及「スウ テ」耕地行移民ト東洋移民会社トノ………五二二 書面契約案承認ノ件……………五二二

一九	六三八	十月十六日	在墨西哥安達公使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	墨西哥ノ時局收拾ノ為墨西哥武將會議開 催ニ関スル件	八九七
二	一〇五	十月十七日	在桑港沼野總領事代理ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	加州排日法案防止ニ関シ大統領ニ請 願ノ為ノ桑港有力者ノ代表者變更ノ 件	一三一
一四	三四一	十月十九日	坂田通商局長ヨリ 伊沢警視總監宛	「ペルー」国「サンホセ」及「スウ テ」耕地行移民心得方印刷物認可ノ 件	五三三
二	一〇六	十月二十二日	加藤外務大臣ヨリ 在米田珍田大使宛(電報)	桑港博覽會參同決定ト関連シ加州排 日法案阻止ノ必要ニ付大統領及國務 長官ノ注意喚起方訓令ノ件	一三一
二	一〇七	十月二十三日	在米田珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	加州排日法案防止方ニ関スル訓令執 行ハ延引ノ見込ナル件	一三二
七	二四一	十月二十三日	加藤外務大臣ヨリ 在米田珍田大使宛(電報)	米田各國トノ國際爭議處理條約文 接到ノ件	三一一
附記					
	五号	九月二十九日	附珍田大使發加藤外務大臣宛公第二〇	國際爭議處理條約送付ノ件	三一一
七	二四二	十月二十三日	在米田珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	日米間國際平和委員會設置條約締結 商議ノ場合ニ於テ米田提案ニ對シ修 正ヲ要スル諸点指摘ノ件	三二二
五	二〇二	十月二十五日	在米田珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	米田上院「バーネット」移民法案握 潰ノ件	二六五
一	六七	十月二十六日	加藤外務大臣ヨリ 在米田珍田大使宛	加州問題ニ関スル六月二十三日附國 務長官ノ書翰ニ對シ日本政府抗議ノ 書翰案送付ノ件	七六
附屬書					
			右日本政府抗議ノ書翰案		七七
一	八一	十月二十六日	加藤外務大臣ヨリ 在米田珍田大使宛(電報)	新協約案大体ノ構想ニ関シ米田政府 ノ意向ヲ懇談的ニ打診方ノ件	一〇一
二	一〇八	十月二十七日	在桑港沼野總領事代理ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	加州排日立法防止運動資金知事側ニ 於テ辞退ノ件	一三三
一	六八	十月二十八日	加藤外務大臣ヨリ 在米田珍田大使宛(電報)	帝國政府ノ抗議郵送ノ旨通報ノ件	八六
一	八二	十月二十八日	在米田珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	新協約案ハ日米平和條約締結ト交換 的ニ提議シ度キニ付右締結方針回示 方請訓ノ件	一〇二
二	一〇九	十月二十九日	在米田珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	桑港博覽會參同ト関連シ加州排日法 案防止方ニ付大統領ト會談ノ件	一三三
一	八三	十月三十日	加藤外務大臣ヨリ 在米田珍田大使宛(電報)	米田ノ排日行動予防ノ為ノ新協約案 ノ内容ヲ國務長官ニ内告方ニ関シ回 訓ノ件	一〇二

十一月

一九	六三八	十一月三日	在墨西哥安達公使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	墨西哥武將會議ハ「グチエルレス」將 軍ヲ仮大統領ニ選ビタル件	八九八
二	一一〇	十一月四日	在桑港沼野總領事代理ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	加州知事ノ再選確實ノ見込報告ノ件	一三四

八 二七七 十一月 四 日

大浦農商務大臣ヨリ
加藤外務大臣宛

「ブリビロフ」群島臘肭獸獵禁止
解除ヲ米國政府へ要請交渉方ニ関シ……三二八
照会ノ件

七 二四三 十一月 五 日

加藤外務大臣ヨリ
在米國珍田大使宛（電報）

審査期間中当事國軍備ノ現状維持規
定ニ対スル米國上院反対ノ理由等電
報方ノ件……三二三

七 二四四 十一月 五 日

在米國珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

審査期間中当事國軍備ノ現状維持規
定上院削除ノ理由等回報ノ件……三二三

二 一一一 十一月 六 日

加藤外務大臣ヨリ
在米國珍田大使宛（電報）

在米國独國人ノ排日氣勢煽動ニ注意
方訓令ノ件……一三四

附 記

米國ノ与論ヲ動カサントスル独逸人ノ活動……一三五

二 一一二 十一月 七 日

加藤外務大臣ヨリ
在桑港沼野總領事代理宛
（電報）

十一月三日総選挙当選者ノ政派別報
告方訓令ノ件……一三七

附 記

加州総選挙議員候補者ノ排日意見概覽……一三七

二 米國太平洋岸三州州会及国会議員党派別……一三九

一五 四三二 十一月 七 日

在伯國畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

本邦移民ノ待遇ニ付「サンパウロ」
州政府言明ノ文書化交渉ニ関スル件……六五二

一九 六三九 十一月 七 日

在墨國安達公使ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

武將會議ノ墨國新大統領選任ニ「カ
ランサ」異議ノ件……八九七

二 一一三 十一月 十 日

在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

加州排日法案防止ニ関シ桑港有力者
ノ代表者ヨリ大統領宛陳情書提出ノ
件……一四〇

二 一一四 十一月 十二 日

在米國珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

排日法防止ニ付國務長官尽力言明ノ
件……一四〇

二 一一五 十一月 十三 日

加藤外務大臣ヨリ
在米國珍田大使宛（電報）

加州排日法案予防ニ関シ同州知事ニ
申入方及「ルーズヴェルト」氏へ幹
旋依頼方等ニ関スル件……一四一

二 一一六 十一月 十三 日

在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛

加州排日法案防止ニ関スル同州米國
人有力者委員會ノ運動ニ関シ報告ノ
件……一四一

一二 三〇六 十一月 十三 日

加藤外務大臣ヨリ
在オタワ矢田總領事宛（電報）

英領「コロンビア」州官有林伐採ニ
日本人使用禁止ヲ廢止セシムル様
當局ニ交渉方在「バンクレーパー」領
事へ訓令ノ件……三八七

一五 四三三 十一月 十四 日

在伯國畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛

在米國本邦人狀態ニ関スル「ラムプ
レイア」報告書寫入手ノ為報酬必要
ノ件……六五三

二 一一七 十一月 十五 日

在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

加州排日法案防止ニ付「ダラー」氏
尽力ノ件……一四二

一五 四三四 十一月 十五 日

在伯國畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛

本邦移民ノ待遇ニ関スル文書交換ニ
付「サンパウロ」州政府側トノ交渉
具報ノ件……六五三

附 屬 書

一 畑公使ヨリ「サンパウロ」州副統領宛公文案訳文……六六一

二 「サンパウロ」州政府回答案訳文……六六二

三 「サンパウロ」州政府回答案（当方対案）訳文……六六二

一九 六四〇 十一月 十五 日

在米國珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

米國國務長官十一月二十三日「ヴェ
ラクルス」ヨリ撤兵スヘキ旨公表ノ
件……八九八

一五 四三五 十一月 十六 日

加藤外務大臣ヨリ
在伯國畑公使宛（電報）

森岡ノ代表者「ミナス、ジェライス」
州ニテ締結ノ移民契約ニ付報告方訓
令ノ件……六六三

二	一一八	十一月十七日	在米田珍田大使(電報)	加州排日法案予防ニ関シ同州知事ニ申入方及「ルーイズヴェルト」氏へ幹旋依頼方ニ付意見回電ノ件	一四三
一四	三三七	十一月十七日	在リマ森領事(電報)	森岡移民会社取扱「ペルー」移民ノ統計略表進達ノ件	四八一

附屬書 右略表

一五	四三六	十一月十七日	在伯国畑公使(電報)	森岡代表ノ移民契約ニ関シ回電ノ件	六六三
二	一一九	十一月十八日	加藤外務大臣宛(電報)	加州排日法案明年同州議會ニ提出必至ニ付右ニ対スル在桑港邦人ノ態度問合ノ件	一四三
二	一二〇	十一月十八日	在桑港沼野總領事代理(電報)	加州州会總選舉ノ結果ニ鑑ミ同州排日法案予防策ニ付稟申ノ件	一四四
一	六九	十一月十九日	在米田珍田大使(電報)	日本政府抗議ノ書翰提出日取ニ関シ報告ノ件	八六
二	一二一	十一月十九日	加藤外務大臣(電報)	加州次期議會ニ提出予期ノ外国人土地法改正案ニ関シ米田大使トノ会谈要領送付ノ件	一四五

附屬書 右会谈要領

一	七〇	十一月二十日	加藤外務大臣(電報)	日本政府ノ抗議書寫桑港領事ヘ送付方ノ件	八六
二	一二二	十一月二十日	坂田通商局長(電報)	「ガイ」博士ノ加州排日法案阻止運動内報並「ダラー」氏訪日予定ノ件	一四七
			波沢男爵外三名宛	加州議會議員選舉ト排日運動	一四九

附屬書 加州議會議員選舉ト排日運動

二	一二三	十一月二十日	在桑港沼野總領事代理(電報)	加州排日法案明年同州議會ニ提出予測ニ対スル在桑港邦人ノ態度意向ニ関シ回答ノ件	一四九
一九	六四一	十一月二十日	在墨田安達公使(電報)	墨田ニ於ケル「カラッサ」「ヴィヤ」間ノ紛争調停絶望ノ件	八九九
二	一二四	十一月二十一日	加藤外務大臣(電報)	加州排日法案防止ノ為「ルーイズヴェルト」氏ニ幹旋依頼方等ニ関スル件	一五〇
二	一二五	十一月二十一日	加藤外務大臣(電報)	加州排日法案防止ニ付國務長官ニ於テ同州民主黨員自肅ノ措置ヲ講ズル様同長官ニ懇談方訓令ノ件	一五一
一九	六四二	十一月二十一日	在墨田安達公使(電報)	「カラッサ」首府ヲ去リ外交団ハ居留民ノ保護ニ付テハ首府占領者ト交渉スルコトニ決定ノ件	八九九
一	七一	十一月二十二日	在米田珍田大使(電報)	日本政府抗議ノ書翰案文修正ニ付請訓ノ件	八六
			別電 同日珍田大使發加藤外務大臣宛電報第四三四号	加州排日問題ニ対スル同州進歩党機關紙ノ論調報告ノ件	一五一

別電 同日珍田大使發加藤外務大臣宛電報第四三四号

二	一二六	十一月二十二日	在桑港沼野總領事代理(電報)	加州排日問題ニ対スル同州進歩党機關紙ノ論調報告ノ件	一五一
一	七二	十一月二十三日	在米田珍田大使(電報)	日本政府抗議ノ書翰案文中ノ修正箇所ニ関スル件	八七
二	一二七	十一月二十四日	在米田珍田大使(電報)	加州排日法案阻止ノ為「ルーイズヴェルト」氏ニ幹旋方ニ付「ヘンリ、ホワイト」ニ依頼其他ニ関スル件	一五二
八	二七八	十一月二十四日	加藤外務大臣(電報)	「プリビロフ」諸島ニ於ケル臘舘獸獵禁止ニ関スル米田法律改正ヲ米田政府ニ要請交渉方訓令ノ件	三三九

一八 五二三 十一月二十四日

在哈爾濱川越總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛

蒙古借款条約ニ関スル新聞記事訳報……………七九一
ノ件

附屬書

露蒙借款条約和訳文……………七九一

一九 六四三 十一月二十四日

在暹国安達公使ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

「カランサ」ハ政府ヲ「コルドヴァ」
ニ移シ「ヴィヤ」軍及「サバタ」軍……………九〇〇
「メキシコ」市ニ近接ノ件

一九 六四四 十一月二十四日

在墨国安達公使ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

「カランサ」ノ軍兵悉ク首府ヲ逃ケ
去リ「サパタ」軍入府ノ件……………九〇〇

一 七三 十一月二十五日

加藤外務大臣ヨリ
在米国珍田大使宛（電報）

日本政府抗議ノ書翰案中ノ修正箇所
承認ノ件……………八七

一 七四 十一月二十五日

在米国珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

第四回抗議書國務長官ヘ手交済ノ件……………八七

一 七五 十一月二十五日

在米国珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛

加州土地法ニ関スル我第四回抗議書
寄送付ノ件……………八八

附記

十一月二十五日附日本政府第四回抗議書和訳文……………八九

一 八四 十一月二十五日

加藤外務大臣ヨリ
在米国珍田大使宛（電報）

米國ノ排日行動予防ノ為ノ新協約案
ノ成行ニ関シ問合ノ件……………一〇二

附記

大正四年一月十七日在米国珍田大使發加藤外務大臣
宛電報第一〇号
新協約案ニ関シ國務長官ト会谈ノ件……………一〇三

二 二二八 十一月二十五日

在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

加州排日法案明年提出ニ対スル同州
知事ノ意向並議會ノ形勢報告ノ件……………一五二

二 二二九 十一月二十六日

在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

加州排日法案明年出現ニ対スル同州
知事ノ意向統報ノ件……………一五三

二 一三〇 十一月二十六日

在米国珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

加州排日案防止ニ付国税長官ヨリ桑
港博覽會會長宛書翰送付並同州民主
黨議員戒飾方要望ニ関シ同長官談話
ノ件……………一五四

七 三四五 十一月二十六日

在米国珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛

米英平和条約批准交換済ノ件……………一三三

一 七六 十一月二十八日

在米国珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛

加州土地法問題ニ関シ國務長官ト会
談ノ件……………九六

七 二四六 十一月二十八日

在米国珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

在本邦米國大使ノ平和条約締結勧誘
ニ対スル回答振問合ノ件……………一三四

一五 四三七 十一月二十八日

在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

「サンパウロ」州副統領当方要望ノ
回答案ニ不同意ニ付更ニ案文提出ノ
件……………一六六三

二 一三一 十一月三十日

加藤外務大臣ヨリ
在米国珍田大使宛（電報）

加州問題ニ関シ駐米英國大使ト連絡
方指示ノ件……………一五四

二 一三二 十一月三十日

在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

加州排日法案ノ形勢ニ関スル同州政
治家ノ觀測報告ノ件……………一五五

一五 四三八 十一月三十日

在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛

「サンパウロ」州行本邦移民ノ待遇
ニ関スル文書交換統報ノ件……………一六六四

附屬書一

十一月十二日附「サンパウロ」州副統領ヨリ「グリ
セリオ」宛書翰訳文……………一六六九

二 十一月二十五日附畑公使ヨリ「グリセリオ」宛書翰
訳文……………一六七二

十二月

一五 四三九 十二月 一日 加藤外務大臣ヨリ
在サンパウロ松村総領事宛
「サンパウロ」州在住本邦移民ヨリ
ノ呼寄証明発給ニ関シ回訓ノ件……………六七六

一 七七 十二月 二日 加藤外務大臣ヨリ
在米国珍田大使宛（電報）
第四回抗議提出ノ事実ハ議會ニ於テ
言及スルコトアルベキ旨國務長官へ………九九
申入方ノ件

二 一三三 十二月 二日 在米国珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）
加州排日法案防止ニ関シ博覽会會長
ヨリ國務長官宛返電及民主党議員戒
飾ニ関スル措置ニ付同長官ヨリ内報
ノ件……………一五五

一八 五二四 十二月 二日 在哈爾濱川越總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛
蒙古鐵道敷設、電線敷設及武器購入
ニ関スル露蒙間ノ三協約訳文送附ノ………七九二
件

七 二四七 十二月 三日 加藤外務大臣ヨリ
在米国珍田大使宛（電報）
日米平和条約締結問題ハ猶ホ考慮中
ナル旨米國大使ニ回答シ置キタル件………三一四

二 一三四 十二月 四日 在米国珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）
十一月三日加藤外務大臣及在本邦米國大使會談要領
米國大使ヨリ國際紛争處理条約締結方要望ノ件……………三一五

一八 五二五 十二月 四日 加藤外務大臣ヨリ
在中國小幡臨時代理公使在哈
爾濱川越總領事代理及在露國
本野大使各宛（電報）
加州排日法案防止ニ付「ルーズヴェ
ルト」氏斡旋諒承並内務長官ノ尽力………一五六
ニ関シ「ホワイ」氏來談ノ件

二 一三五 十二月 五日 在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛
加州排日問題ニ関スル同州進歩黨機
関紙社説誤報ノ件……………一五六

三 一六七 十二月 五日 在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛
故横井秀吉ノ加州ニ於ケル遺産処分
措置ニ関シ回報ノ件……………一七四

一八 五二六 十二月 五日 在中國小幡臨時代理公使ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）
露蒙鐵道条約締結ノ報道ニ関シ查報
ノ件……………七九五

二 一三六 十二月 七日 在米国珍田大使宛（電報）
加州知事ノ態度ニ関シ博覽会會長ヨ
リ國務長官ニ対シ為サレタル報告ニ………一五八
付問合方ノ件

一八 五二七 十二月 八日 在中國小幡臨時代理公使ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）
露蒙間電線敷設協約締結ニ関シ報告
ノ件……………七九五

二 一三七 十二月 九日 在米国珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）
加州排日法案防止ニ関シ「タフト」
氏ノ勢力利用方並同法案ニ対スル加
州知事ノ意向報告ノ件……………一五九

附記

十二月十日沼野總領事代理加藤外務大臣宛電報第
三七二号
往電訂正ノ件……………一六〇

二 一三九 十二月 十日 在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）
明年提出予想ノ加州排日法案ニ関シ
「ガイ」博士同州知事ト会谈ノ件………一六〇

二 一四〇 十二月 十日 在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州排日法案防止ニ関スル「ガイ」博士ノ遊説費教化運動費ヨリ支出方稟請ノ件……………一六一

二 一四一 十二月 十日 在米田珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州排日法案ニ対スル同州知事ノ消極的態度明確ナル旨同州務長官談話ノ件……………一六一

二 一四二 十二月 十一日 在米田珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州ニ於テ明年排日立法行ハレザル旨ノ約言ヲ得居ル趣ヲ國務長官英國大使ニ談話ノ件……………一六二

一八 五二八 十二月 十一日 在中国小幡臨時代理公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

露蒙鐵道及電信協約ニ関シ中国ノ対露抗議及恰克圖會議停滯ニ付在中国露国公使ノ談話報告ノ件……………七九五

二 一四三 十二月 十二日 在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

桑港商業會議所會頭加州排日法案ニ関スル情報内報ノ件……………一六二

二 一四四 十二月 十二日 在米田珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州排日法案阻止ニ付同州知事説得方ニ関スル件……………一六二

二 一四五 十二月 十二日 在米田珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州排日法案ニ「ルーズヴェルト」反対ノ件……………一六三

二 一四六 十二月 十三日 在桑港沼野總領事代理宛
(電報)

桑港商業會議所會頭情報在米田大使ヘ電報方ノ件……………一六三

二 一四七 十二月 十三日 在米田珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州排日法案次期同州議會ニ提出予期セスト「ルーズヴェルト」氏来簡「ホワイト」氏内報ノ件……………一六三

一八 五二九 十二月 十五日 在中国小幡臨時代理公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

露蒙武器購入協約ニ付曹外交次長ヘ質問ノ件……………七九六

一八 五三〇 十二月 十五日 在中国小幡臨時代理公使ヨリ
加藤外務大臣宛

露華蒙ノ恰克圖會議ノ抄々シカラザル狀況探查ノ結果報告ノ件……………七九六

一九 六四五 十二月 十五日 在ニューヨーク中村總領事ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

墨国「カランサ」將軍派ノ大倉組ヨリ武器購入斡旋方願出ヲ拒絶ノ件……………九〇〇

二 一四八 十二月 十六日 在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州知事トノ會談ニ於テ同州議會ノ大勢我ニ有利ナルヲ觀測ノ件……………一六三

一二 三〇七 十二月 十六日 在ヴァンクヴァー阿部領事ヨリ
加藤外務大臣宛

英領「コロンビア」州官有林伐採ニ日本人使用禁止問題ニ関シ同州首相ヨリ極秘ノ半公信受領ノ件……………三八八

附屬書

英領「コロンビア」州首相ノ右半公信写……………三八九

附記

阿部領事ヨリ英領「コロンビア」州首相宛ノ覺書写……………三八九

五 二〇三 十二月 十七日 加藤外務大臣ヨリ
在米田珍田大使宛(電報)

「バーネット」案ト同様ノ移民法案今期議會ニ提出セラレタルヤノ報道ニ関シ問合ノ件……………二六五

二 一四九 十二月 十八日 加藤外務大臣ヨリ
在米田珍田大使宛

次期加州議會形勢予想ニ関スル米田大使來談要領送付ノ件……………一六四

附屬書

右米田大使來談要領……………一六四

二 一五〇 十二月 十八日 在米田珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州排日法案防止ニ関シ「タフト」氏加州議員説得ニ尽力スベキ旨約言ノ件……………一六五

五 二〇四 十二月 十八日 在米田珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

上院全院委員會ハ「バーネット」移民法案ニ字句ノ修正ヲ加ヘ尚討議繼續中ナル旨報告ノ件……………二六六

五	二〇五	十二月十八日	在米田大臣宛(電報)	米田上院ニ於テ審議中ノ「バーネツト」移民法案ノ字句訂正方ニ付國務長官ト会談ノ件	二六六
一五	四四〇	十二月二十日	在米田大臣宛	伯国「サンパウロ」州政府囑託「ラングレア」ノ在米日本人状態調査ニ報告書ニ関スル件	六七七
一九	六四六	十二月二十一日	在墨田安達公使ヨリ 加藤外務大臣宛	墨田ニ於テ「カランサ」派及會議派ノ兩政府對峙シ混沌タル紛糾ノ状態報告ノ件	九〇一
三	一六八	十二月二十八日	坂田通商局長ヨリ 松井愛知縣知事宛	故横井秀吉ノ加州ニ於ケル遺産処分措置ニ関スル問合ニ對シ調査ノ結果ニ回答ノ件	一七六
一五	四四一	十二月二十九日	在伯田公使ヨリ 加藤外務大臣宛(電報)	「サンパウロ」州統領ノ態度急變報告ノ件	六七八
一五	四四二	十二月二十九日	在伯田公使ヨリ 加藤外務大臣宛	「サンパウロ」州行本邦移民ノ待遇ニ関スル文書交換交渉ニ於テ同州統領態度急變具報ノ件	六七八
			附屬書一	十二月十七日付田公使ヨリ「グリセリオ」宛書翻譯	六八四
			二	「サンパウロ」州政府宛往翰案訳文	六八五
			三	「サンパウロ」州政府回答案訳文	六八五
			四	「グリセリオ」宛書訳文	六八五

(終)

昭和四十年三月十日 印刷
昭和四十年三月二十日 発行
日本外交文書
大正三年第三第一冊
(大正第四期)
不許複製
Documents on
Japanese Foreign Policy
1914 Volume I

外務省 編纂
外務省 発行

東京都江東区亀戸町八ノ三七
印刷所 鐵式 吉田次作商店 亀戸工場